京城日報

二十五日夕刊

本紙定價 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金二圓七拾錢 ▲郵券代用一割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄一行一圓 ▲三號活字は二行 一號活字は五號活字の一行として算す
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話番號 編輯 營業 振替口座京城

◎日本移民排斥案 下院委員會通過

下院移民委員長バーネット氏提出に係る日本移民排斥條項を含める移民修正案は下院委員會を通過し今春中本會議に報告さるゝ手筈なり同案は太平洋岸に於て米國勞働者より排斥を受け居たる日本移民を有効に入國を拒絶し得るものなり（紐育電報）

歐洲大戰亂

▲土皇儲の單獨媾和希望

巴里來電＝雅典來電に曰く土耳其の皇太子及び或る種の將校は單獨媾和を希望しつゝありと（倫敦電報）

▲對獨封鎖問題の成行

外相グレー氏は二十六日封鎖問題に付き或る重要なる發表を爲さんとすと期待せらる（倫敦電報）

▲英海岸に敵機の襲來

敵飛行機一隻二十三日朝ケント州東海岸を爆撃し男子一名死亡し男子二名婦人一名小兒三名負傷せしめ數個所に火災を起さしめたり（倫敦電報）

◎釜山水産組合總會

釜山水産組合は大正四年下半期營業及び決算報告利益配當の件を附議する爲め二十五日午後五時より南濱待合亭に定期株主總會を開く（釜山特電）

◎釜山商業銀行總會

釜山商業銀行にては二十五日午後一時より同行樓上に定期株主總會を開き大正四年下半期營業及決算報告並に利益金配當の件を附議せり（釜山特電）

◎大林芳五郎氏逝く

我國建築界に其名を知られたる大阪東區北濱の大林組社長大林芳五郎氏は肺疽癇にて廿四日夜逝去せり享年五十有三歲氏は先帝の登遐あらせらるゝや氏は伏見桃山御陵の御造營を仰付けられ其御斂葬に際し特に幄舍に參列の恩命を蒙り最近に於ては中央停車場の大建築を請負ひ其他各方面鐵道工事に從事し殊に大阪電鐵線の生駒隧道は廣軌複線延長二哩八鎖の大工事にして本邦工業界の新記錄なりと稱せられたり現に七大會社の重役を帶び前途倘ほ望を囑せられし所惜む可し（大阪特電）

雜報

◎石油大暴騰 四社の賣止宣言

京城に於ける石油の供給は英米の二大會社を初め寶田、日本の各石油會社に由て行はれ各社を合せて京城及び其附近の需要年額は約十四五萬函なりスタンダード會社の松票及び勝利は黃金町に石油組合を設け其他各社は各別に特約店を設けて販賣し居れども常に賣値等に就ては相當協定の下に販賣し來りたり然るに本月十六日に至り俄然一函に付き一擧五十錢の値上を發表し內外の四社共名販賣店は直ちに之れが賣行に著手し其結果松票四圓五十六錢、勝利四圓三十七錢、旗票四圓十四錢、寶田の青全服三圓九十錢の呼値を示すに至りたり

▲騰貴の原因 其原因に就ては當業者の談を聞くに一面は外油輸入就中英油の輸入捗々しからざると今回露國より我が二大石油會社に對して約二十萬函の大注文來りたると今一つには鐵材鐵葉の暴騰に由るものなりと云ふ兎に角僅かの値上に需給者共に驚ろき居る際更に十九日午後に至り又もや各社共二十五錢の値上を發表し同時に輕油も同樣の値上を斷行し其結果所謂見越注文意外に增加したるため英油會社は倫敦本店よりの電命に依り賣止を宣言し米油會社は販賣店への御賣にも大制減を加へ自然內地よりの入荷も手薄を來したり

▲前後三回の値上 前後二回に七十五錢の値上をなしたるさへ近來異數のことなるに又復二十二日午後に至り各社共更に一函につき五十錢の値上を發表するに至り、茲に近々一週間內に於て一圓二十五錢の値上を見たるは石油界空前の大暴騰なり事情斯の如く此先又もや幾何の値上あるやも圖られずとて思惑注文もあり目下の石油界は實に混沌たる狀態なり今後引續き一二回の價格騰貴あるものとせば遂にスタ社油は七圓ラ社油は六圓五十錢日本、寶田の兩油は五圓五十錢に達せむと觀測する者もあり兎に角今日は需要旺盛期に於て單に販賣店の接品にのみ賴り居る有樣なれば若し暴騰の勢止まず當業者制減を解かずとせば需要者の不利甚しきものあるべく製造工業にも著しき影響を及ぼすべし

◎內地商人の教を請はむ 鮮人商業の發達に就て

京城商業會議所特別評議員 朱秉畯子談

日露戰爭の時だつたと思ふ自分等が世話で京城商業會議所と云ふ鮮人の商工團體が設けられた舊の共益社の西原君を顧問としたことがあつた併し間もなく西原君は辭して後は全然朝鮮人のみの會議所となつたが朝鮮人は朝鮮人で商工取引の改善發達を行つて見せると云ふ樣な素破しい勢で正副會頭を選ぶやら評議員を出すやら形ばかりは日本人商業會議所と似た樣なものが出來たけれども一向に成績が擧らず寧ろ負債が增す一方であつた世間は是れを見て嗤いたり不思議がつたりして居たがそこには又朝鮮商人の多年の習慣と云ふものを考へて見ねばならぬ

▲六種の商人組合 鮮人の間には從來六種の商人團體があつて紙は紙、綿布は綿布と個々別々に組合が設けられて其の商業を營まんとする商人は否が應でも此組合に加入せなければ商業は出來ない位に組合は一種の專賣權を持つて居つた從つて各組合は其の商業の種類を異にするのみで宛然六個の商業會議所が京城に對立して居た樣なものである其上政府からは是等の組合を御用商人として多大の補助と便宜を與へたものであるから商人等は殆んど勞せずして過大の利益を得て居つたのである其又組合の役員と云ふものも全く尸位素餐の有樣で商業の發展や進歩を顧慮する必要には迫られなかつたのである

▲鮮人商議の十年間 此種の考が商人の頭に宿つて居る所へ制度を一變して內地同樣に商業會議所を設け規則を制定した所でうまく行きさうな筈がないされば強ちと之れを責むる譯にも行かない新に會議所が出來る時に鮮人は鮮人で別々にやると云つた際に自分はそれなら今後子弟の教育は何人の手に委ねるかと云つたこともあるのだがそれでも鮮人仲間には今日の所謂合併迄約十年間辛棒して來た其間には噂もすれば商業會議所が政治運動を初めるなど〻云ふ騷ぎで其結果遂ち得たものは多額の負債許りである此十年間に於て到底鮮人のみでは商工業の機關となつて組合員を指導し行くことの困難なことが教訓され其によつて終に今回兩會議所が合併することに就ても誰一人の反對する者がなかつたのである、つまり、迷夢から覺めたと云つてもよからう

▲內地人に信賴して 然らば將來は如何するかと云ふ問題になつて來るが內鮮人協心同力して專ら商工業の進歩發展を促進せんことに努むるのは勿論であるが自分は寧ろ全然內地人が朝鮮人を指導する任に當つて貰ひたいと思ふ若し鮮人等が此點に就ては朝鮮人側に一任されたしと云ふが如き問題の生じた場合に自分はこれに反對して常に何事によらず內地人の教を乞ひたいと思ふ何故ならば朝鮮人は前述の如く從來の習慣からして組合員を指導して商工業の發達進歩を促すと云ふが如きことは經驗に於て乏しきのみならず其任でなからうと思ふ故に將來は內地人諸君の教を受けて從來の面目を一新し兩會議所合併の趣旨に副ひたいと思ふ

◎農銀總會と配當

平安、慶尙、全州、光州、咸鏡の各農工銀行にては二十二日より二十四日に亙りて定時株主總會を開き大正四年度下半期の利益配當其他を決議せり、同期は上半期の後を受け成績不良を豫想し居たるも十月以降に於て米價の上騰に伴ふ出廻米の激增に依り多額の貸出しあり、且つ回收良好なりしより資金は一層の運轉を見たる結果、上半期に比し大に優良の成績を得たるを以て平安農銀の五分を除く外總て八分の配當を可決せり而して漢湖農工銀行は二十九日同行樓上に定時總會を開く筈なるが、同行は整理の方針確立し朝鮮銀行よりの借入金一百萬圓も既に協約濟みとなりしが何分資金固定の後とて未だ充分の成績を擧ぐるに至らず今期の配當も年三分なりと因に朝鮮商業銀行は二十二日總會を開き漢城銀行は廿七日開催の筈なり

◎午餐會辭退 來航の練習艦隊

山縣政務總監は練習艦隊吾妻、磐手の仁川來航を待ち二十八日正午より司令官松本少將以下の幕僚を招待午餐會を催す筈なりしが司令官は都合に依り辭退せるを以て見合せとなれる由なり、從つて司令官はまた政務總監以下長官等を艦內に招待の豫定なりしも沙汰止みとなる可し

◎仁川艦隊歡迎

松村少將の率ゆる練習艦隊磐手、吾妻の二艦は二十六日大連より仁川港に入港の豫定なることは前項の如くなるが仁川にては例に依り艦隊入港と同時に久水府尹、櫻井稅關長、平田觀測所長、市橋郵便局長、松元署長等旗艦磐手を訪問し松村司令官に敬意を表す可し尙ほ二十七日午後五時より久水府尹は士官以上を八阪樓に招待し歡迎會を催すべしと

◎伊藤旅團長教育觀察

第三十一旅團長伊藤少將は二十五日龍山駐箚第三十五聯隊の初年兵の教育狀況を檢閲し尙ほ一般兵士の教育狀況をも視察したり師團よりは岡本參謀長臨場せり

◎警務部隊署長會議

京畿道警務部にては管內京城府內に於ける各警察署長及び憲兵隊長恒例會議を二十六日午後一時より京畿道構內宣化堂に開くべしと

◎定例長官會議

二十五日は定例長官會議當日なるを以て山縣政務總監以下各部長官、局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集し通常政務に就き協議の上正午散會す

◎支那隨員出發

支那特派大使の隨員として先發入京中なりし隨員一行五名中四名は既に歸任の途に就き施翊氏一人病氣の爲め滯京、總督府醫院に入院治療中なりしが全快せしを以て二十四日夜九時四十分南大門驛發汽車にて北京に向け出發す

◎木曜會例會開會

京城の官民を以て組織せる木曜會にては二十七日午後六時より京城ホテルに於て例會を開き晩餐を共にしたる後ち工業傳習所今津理學士の「內地の化學工業」に關する視察談ある筈

◎京城印刷業組合會開催

來る二十六日京城商業會議所樓上に於て京城印刷業組合會を開く可しと

◎農銀春川支店長更迭

漢湖農工銀行春川支店長小田七郎氏は今回一身上の都合に依り退職することゝなりたれば其後任者として本店詰中村孝嗣氏二十五日出發赴任せり

平壤通信

▲林野保育と通牒 平安南道に於ける森林保護組合總數は既に百十餘箇所に達せしも其發達未だ捗々しからざるものあるを以て本道篠田第一部長は各郡守に宛て組合員をして組合規約の遵守を勵ならしめて林野保護保育を期し且つ植林に對する智識に努むる樣通牒を發したり

▲商議表彰金問題 鮮人側商業會議所に於ける表彰金問題は其後會員側は寄々會合を催して反對の氣勢を高め居れるが二十四日の如きも某有力者及び金鼎健、鼎商宣、外數名は會議を催して鄭會頭及び副頭に對する抗議書を作製し二十五日より會員の調印を求めん事を決議し直ちに實行に着手す可く其曉は委員を選出して正式に抗議をなす由なるが當局にては双方の間に立ちて事を平和の裡に解決すべき樣盡力しつゝ有れば該問題も數日中には圓滿に解決すべき模樣なり

▲高普入學生募集 平壤高等普通學校にては本科一年生約百名を募集する由なるが其手續は平安南北道黃海道各公立普通學校長より二十五日迄に推薦し單に口頭試驗及身體檢査を爲すのみにして入學の許可を定め其他の中數の者は普通學校卒業又は此と同等の學力ある者にして明治三十七年四月一日以前の生れ即ち十二歲以上にして入學志願者は二月二十六日迄に願書を提出し試驗（平壤第一第二普通學校及び高等普通學校に於て施行し學科目は國語、朝鮮語、漢文、算術、四則分數）なりと

▲自動車商會總會 平壤自動車商會にては既報の如く二十四日嘉樂に於て總會を催したり來賓としては松永道長官三浦副官及び各新聞記者等にして株主二十數名定刻內田組合長より事業報告あり松永道長官より一場の諭示的挨拶ありて宴に移り散會は十時頃なりし半期決算左の如し 收入三千八百九十四圓五十七錢▲支出三千四百十二圓三十三錢▲差引殘金四百七十八圓二十四錢▲此配當金年一割

▲三宅技師出張 道技師三宅技師は二十五日午後一時發列車にて江西郡內に於て開催の地主會に臨む可し

慶尙通信

▲迎日灣差網調査 曩日來問題となりつゝありし慶北迎日灣口差網濫使用問題に就き慶北道廳及び本府にも爾來實情調査を進め本府よりは淺原技師來邱高橋慶北道技手と同行廿三日より十日間の豫定にて調査の爲め出張せり

▲慶北登記所新設 大邱地方法院にては廿四日附を以て管內五箇所に地方法院出張所を新設せり

▲陸地棉模範指定 慶北道廳にては達城郡に陸地棉模範栽培地三十町歩の指定をなさんとて二十五日角本慶北道技手荒川達城郡道書記同行論工へ出張せり

▲竹崎大邱府尹招宴 竹崎大邱府尹は新年の挨拶を兼ね二十二日午後六時より大和に於て官民百二十餘名を聘し晩餐を供せり竹崎府尹の鄭重なる挨拶黑川檢事長の來賓總代謝辭あり十二分の歡を盡して散會せり

▲玄風模範鑿井計畫 達城郡玄風に於ては移民增加と共に近時衞生上非常の注意を拂ひ模範井戶鑿鑿の計畫あり是が具體的調査の爲め廿四日小串大邱警察署長吉羽達城郡書記該地に出張實地檢査に著手せり

▲在鄉軍人將校懇親會 大邱在鄉軍人會にては將校同相當官、準士官にて廿三日午後六時より大和に於て新年大懇親會を開く服部支部長松本副支部長の出席盛會なりし

▲釜山瓦電新年招宴 釜山朝鮮瓦斯電氣株式會社にては二十四日午後六時より鳴戶に於て重要官吏及び新聞記者等二十餘名を招待新年宴會を開催主客歡を盡し十時過散會したり

◎大阪より

▲燐寸界の懸念 目下安全燐寸一等品は三十八圓、黃燐寸並寸並通品は三十三圓恰好にて之れを歐洲戰爭前の時價に比すれば何れも二十圓方の騰貴なるが畢竟原料鹽酸加里の輸入意の如くならず十七圓五十錢位なりしもの今や十倍以上の百八十圓見當となり尙昂騰の氣勢にあれば原料高に比して燐寸の騰貴は伴はざるに或は燐寸工場も原料不足の爲め閉鎖せんかの騷念を生ずるに至れり元來本邦に於ける鹽酸加里の生產は福島縣下の日本化學工業會社の製造販賣せるのみにて其の製產額一箇月約二千樽なるに需要は一箇月約五千樽なれば不足額三千樽は輸入品に待ち居たりしに戰亂の影響にて輸入杜絕し尙臘十二月中は一樽も輸入なく本年に入り漸く一千樽許りの輸入を見たるのみにて鹽酸加里は益々昂騰の恐あればなり尙昨今の燐寸產額は增減なく一箇月約八萬箱の製產にて內六萬箱は輸出品なり

▲煉瓦更に値上 大阪窯業、日本、堺、岸和田、津守、丹治の六煉瓦同業は普通製品一千個に對して一圓値上を協定せしも以來職工賃金の昂上且つは近來製品の需要激增に伴ひ一方一部の同業者間に又復値上說を生せし由にて以來同業內議の末其意嚮一致を見るに至りし模樣にて結局不日製品一千個に付更に二圓値上の協定を見るならんと

▲郵船の造船豫定 郵船會社歐洲航路の貨役船八千噸の常盤丸は九日朝長崎造船所に於て進水式を擧げ極めて良成績を得たるは既報の如くなるが同會社にては船價今日の如く暴騰し居らざりし以前各造船所に何れも八千噸以上の大汽船を注文し本年內に於ては尠くとも七八隻は進水の運びに至るべきを以て船腹不足の我が海運界に聽て一大勢力を加ふべしと（大阪支局）

人事消息

▲齋藤海軍主計中監（佐世保軍港經理部第二課長）廿四日午後六時着列車にて元山より入京

南言北語

▲さしも健氣に戰を執つて立ち向ふた黑山國も天險地利に據りながら衆寡敵せず痛ましいかな墺軍の蹂躪する所となり其の都市は勝手に司配され其の良民は自由を束縛さるゝに至つては萬事休するの外は無い▲聯合軍の來援を待つたところで追付かず怨みは骨髓に徹するが蟷螂の斧を揮つても萬骨枯れて一將功成る譯でなし▲罪なき民の生血で祖國の山河を染めるより茲は一番涙を呑んで和を講じ民の安きを計るに如かずと黑山王は慨然として天を仰いだ▲其の結果が幾多の悲劇となり途に國王は姑らく落魄流離の身となつて慣れし都を落ち行く先は佛京巴里▲王妃と共に途を伊太利に執り羅馬に行つた、伊太利の王妃は即ち黑山王の王女である豫ねて父王の社稷成行如何にと愁に深く鎖されたる伊王妃の胸中は流離の父母君と對面の時そも如何なりしぞ同情に禁ずるを得ない▲それが親しく宮中で老の身を勞はり進らす事も得ならず一夜を明かされたる停車場の寢臺車の中に三人の王子を伴うて涙の手を握り交されたとは世にも悲慘なる史劇の一幕ではないか▲平生皮肉や憎まれ口ばかり叩いて居る南言北語子も他人事ならぬ感慨に堪へぬ▲曩きに白耳義の悲劇あり今亦黑山國に此れを見る、黑白を別たぬ一樣の悲劇だと洒落れる氣にも今日はなれない慘ましい哉

花の都 優良石鹸
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

閑靜にして避暑避寒に宜し
溫陽溫泉

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎日本書畫骨董大辭典	池田常太郎	特 一、二〇〇
◎格言大辭典	芳賀服部安井	特 一、二〇〇
◎肥料的麥作改良法	鈴木千代吉	一、六五
◎小學校に於ける教育教授の實務	澤正	一、五〇
◎小賣商店廣告法	清水正己	九〇
◎實用新聞雜誌廣告術	岡崎寺良	五〇
◎新倫語	村上俊藏	特 一、二〇
◎通俗講話四季の衞生	枝元長夫	八五
◎新家經濟中流生活法	嘉悦孝子	八〇
◎我等何を爲す可きか	加藤一夫	一、六〇
◎隱元、木庵、即非	高橋竹迷	一、〇〇
◎詩傑乃木大將	兒玉花外	八〇
◎日蓮上人	熊田葦城	一、二〇
◎戀の秘訣	紀淑雄譯	五〇
◎女性中心說	レスターウオード	七五
◎貧乏と戀と	安成二郎	六〇
◎歐州文壇印象記	野口米二郎	一、〇〇
◎虞美人草	夏目金之助	一、二〇
◎鏡花双紙	泉鏡太郎	一、三〇
◎朱葉集	與謝野晶子	一、〇〇
◎歸郷	長崎騎兵中尉	八〇
◎十字路	櫻井大尉	一、二〇

大阪屋號書店 京城本町二丁目 振替京城二五七三

史外史傳 風雲兒(四)

京城時代の袁總統 官邸の奥に數名の若き侍女

當時彼の邸宅は前陳樹棠の官邸を撰張して郷里から母汪氏及び夫人息克定及び夫人の召使を兼て彼の妾となつて居る若い女も四五名引連て來て居た。此の外に事務官二十名位と彼が軍屬時代の部下であつた處の兵士が百名も隨て來て居た。此等の兵士は今の長谷川町附近にバラック式の家を拵へて表面はそれ〴〵商法を營んで居つて、彼れが王宮へ參入する時は兵裝に擬したる服を著して彼の前後を守護し威を市中に輝かして居つた。彼が之等の兵商を愛護する事は一通りでなく、此等の者の利益を圖る爲めに朝鮮人商人に對し有ゆる譎詐騙瞞を逞しくしたものだ。それ故彼れの伴つて來た支那商人で忽ちの内に金を溜めた者が尠くなかつた彼は此の金を用ひて常に其の野心を伸ぶる運動費に宛て丶居た。限りある豫算に束縛せられて居た各國使臣は其の金を散らす上に於て、其の贅澤さ加減に於て常に彼に一歩を讓るの已なき有樣であつた。外へ出ては國王の鹵簿にも優さる仰々しき行列を衒した袁も、其邸內に於ける私生活は極めて簡短で有つた其の質素なる生活状態は支那の官吏としては寧ろ例外と稱すべきものであつた。

は一束にして棚へ投げ込んで置き常に自分は一錢の金も懐中にしては居らず事有る毎に薫事に其の支出を命じ、又は母堂から僅かばかりの金を貰ふて用を辨せしむると云ふ風で有つた。斯の點は利慾に目の無い支那人の間にあつて實に彼の生命とす可きところかも知れぬ。彼が身を卑賤より起し科擧出身に非ずして今日に至つたことを思へば、支那古典に通ずるなくはた泰西の新學を修むるに

袁總統長女勉學孃=十八歲の時撮影

金錢で惡みじげた現位置

最も彼は田舍に成長し丁年に達して傭兵となり爾來兵營生活に甘んじて居つて、餘り贅澤に馴れなかつたのも一原因で有つたかも知れないが、しかし亦彼が金銀財物に比較的恬淡であつて、金は有るだけ部下に散じ朝鮮王より下賜せらるる骨董品及び時々の音物等も悉く之を人に贈り又

も非ず又常に韜晦に依つて修養するが如き事もなくして今日の地位を贏ち得たるは、彼が此の特色を以て終始したのが其の主なる原因であるかも知れない。思へば彼の現地位は金錢を以て惡み上げたと言ふ可きかも知れぬ。袁は外に對しては權謀術數盡さざるなき辛辣漢であるが家庭內に於ける彼を見る時は實に和氣藹々として母堂の前には何時も甦りない愛兒であり夫人の前には溫かい郎君

であり子供には好いお父樣であり且つよいお友達であつたが多くの若い侍女達から見れば最も健康なる而して油斷ならぬ旦那樣であつた。彼は朝鮮の宮廷に於て威大商に僞つて王大臣を脅喝して來ても邸の門を入れば既に其の面には春風和煦として、出迎へに出て來る克定君をいきなり抱いて差し上げクル〳〵と回はしながら庭內を子供の如き笑聲を揚げて馳け廻るのが常であつた

有名なる彼の暴飲酒暴喫煙

斯の如く彼を家庭に引付けて春風駘蕩たらしめたのは母堂の薫陶の大いに力ある事を知らなければならぬ。袁の母堂は賤卑の婦人に係らず頗る賢夫人であつて身には常に廣東木綿の粗服を纏ひ、袁が朝鮮政府に對して勢力を振ひつ丶ある日に於ても彼は保定府の一農夫の子を訓へる如く懇々と庭訓を與へて居つた。然しながら此の母堂が口を酸くしての懇なる訓誡も袁の好色をば如何ともする事が出來なかつたと見えて、彼は次ぎから次ぎへと召使ひの若い女に手を懸けた、しかし不思議にもそれが爲めに家庭に風波の起るが如き事は絶對になかつたまた家庭に於て恣に振舞ふだけに彼は當地花柳界に足を踏み込んだ事は殆ど無かつたと云ふ事である、彼は漁色の他には殆ど道樂はなかつた、但し唯一つ植木弄は彼の唯一の趣味で今の明治町總領事館の庭園の如き一木一石の按排配置まで當時袁の趣向に成つたもので京城に於ける好個の記念園となつた。彼は幼時より身體を練磨する境遇に居つた爲め頗る健康體にあつたが軍司馬として京城在勤中より多量の飲酒と喫煙の習慣を付けた爲めに非常に咽喉及び氣管を傷め常に痰咳に苦しんで居た。最も直隷總督となると共に酒と煙草とを廢して爾來益々健康體となつて居る筈であるが京城當時に於ける彼の暴飲は有名のもので有つた。

聖上御手に抱かせ給ふ

澄宮崇仁親王=初御參內

新皇子澄宮崇仁親王殿下には初御參內のため二十三日午前九時三十分青山御殿御出門馬車にて宮城に向はせられたり殿下には白羽二重の御衣を召され御帽子を戴かせられず桂に緋の袴を著けおすべらかしに結べる掌侍吉見光子輕やかにお抱き申し閣典侍も陪乘して更に

陛下より賜はりたる御劍を金襴の袋

に納めて捧持し居り次の馬車には桑野御用係加藤侍醫の兩名供奉し居たり、かくて同五十分半藏門より入らせ給へり、是より先き賢所皇靈殿及び神殿の三殿は裝飾され久邇宮兩殿下、東久邇宮、朝香宮及び竹田宮妃殿下の五皇族殿下を始め奉り波多野宮相、戸田式部長官、上野書記官築著床、宮內大臣及び關係諸員等は大禮服、扈從の男子は衣冠單を著けたり、やがて御神樂の神に供物を供へ九條掌典長祝詞を奏す、此の間

新皇子殿下には綾綺殿に成らせられ

て御附の女官は晴の御召服なる御形服を御紋章附臙色御緋袴に載せ之を捧じて扈從す、これは此の服を御召し遊ばす意味なり、かくて皇族殿下をはじめ奉り參列の諸員拜禮して式を閉づ、この御儀は先づ賢所、次に皇靈殿神殿にて行はせられしが御式後新皇子には宮中に御參內あり御內儀にて聖上陛下に御對顏、御發育殊の外御宜しきを御覽せられて陛下には御機嫌

いとも麗はしく兩陛下の御手に抱かせ

給ひたりしと承る、頓て十一時四十分御退出あり坂下門より御還啓遊ばされたり御對顏後各大臣、各宮內官等に對し宮中南溜の間にて賜饌ありたり(東京特電)

坑夫六名生埋となる

三井价川鐵山鑛の椿事

平南价川郡三井鐵山坑は近來暖氣の爲め氷結したる上部の土石に綏みを生じたる結果二十三日午後一時半頃俄然約二間半方位の土砂崩壞墜落し坑內にて作業中なりし坑夫は生埋となり內鮮人鑛夫四名即死し同二名及び支那人鑛夫一名負傷したり急報に依り所轄安州分隊軍隊出張所より所員直ちに現場に急行し鑛山事務員と共に救護をなし屍體は檢視の上鑛山事務所に引渡したり

釜山の大火

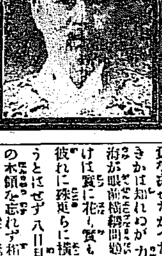
原因は炬燵

二十五日午前五時五分釜山富平町二丁目七十七番地自轉車業荒木盛太郎方より出火したるが急報により釜山警察署同消防組等逸早く驅けつけ消防に盡力したるも

折柄の曉風強く吹き頻りて炎々たる火焰は瞬く間に隣接せる日韓市場に燃え移るや忽ち附近の家屋に延燒し十一戸を全燒し半燒六戸にて同五時三十分鎭火したるが出火の原因は荒木自轉車店の雇鮮人金某が炬燵を引繰返したるより火を發したるものにして損害約一萬圓なり(釜山特電)

稀に見る廉潔勤直の高士

高永喜子の事ども



中樞院顧問子爵高永喜氏は前の度支部大臣にしてその以前日本修好使として渡日したる以來日淸戰役當時義和宮殿下が報聘大使として渡日の際にも隨行し日本通の故を以て二十八年五月學部協辦より駐日全權公使に榮轉し在任三箇月にして任を辭したるが三十六年再び駐日全權公使を命せられたる事あり予は幼より父母を喪ひ世路の辛酸を嘗めて成業したるにも拘らず資性頗る勤直にして利慾の念薄く當時腐敗したる官界に於いては淸廉潔白然かも大韓通有の弊害の癖なく當代稀れに見るの士なりしが親族友人等には頗る敦く一族知友の困窮を救ふを以て自ら快とし現に予の恩惠によりて衣食し居れるもの十數名ありその趣味は圍碁、盆栽書畫の鑑賞等にして二男二女の外七人の孫あり長子は李王職事務官高羲敬氏にして李王世子の御附たり

漢江交通杜絶

船は通れず氷は渡れず困る

最近三四日間の嚴寒の爲め漢江沿岸一帶は少しく結氷し殊に鐵橋以東は一面薄氷を結べり例年昨今は氷上渡渉をなし得たるも本年は今の所渡渉は思ひも寄らずさりとて渡船も通せず爲めに市場等への物資の運搬上大に困難しつ丶あり

猩紅熱續出

京城若草町十番地伊藤よし子(七)は二十四日診斷の結果猩紅熱と判明したるが翌二十五日診斷の結果姉のみ子(一五)も罹病し居れること判明し早速消毒の上患者は順化院へ入院加療中

東京大相撲春場所成績評

東方の醫師に引替へ西方は實に慘憺たるものであつた之れを個人に就て評すると先づ

△横綱鳳 は三日の負け六日の勝ち一日の引分けは横綱として決して好成績とは云へぬがそれでも西方では第一の好成績である彼れは前場所不成績で五日目から休場して居るから皆は此場所が横綱として勸土俵の樣なもので前場所の不人氣を取直さうと思ふだけ相撲は取り難い殊に此方の關脇以上が休場して居るため敵方は鳳一人を目標として向かつて來るから相撲は一層取り難くなる年なほ若い彼れとしては固くならざるを得ない そして四日目栃木山に負けた時より世間の批難を殆んど一身に受けて居たそれを兎も角も休みもせず十日間取り上げた綿師を蹴さしてやらねばならぬ九州栃木綾川には負けたが兩國對馬大錦等を破つて居る就中七日目釋迦ヶ嶽を破つた時抔は余く横綱として推賞す可き取口であつた十日目西の海に左を差し右に釋追引いて得意の姿勢にありながら勝を決せなかつたのは相撲道から云へば惜む可きかは知れぬが力士としては寧ろ光耀たる西の海が眼前横綱問題を控へて居る事とて此の引分けは實に花も實もある武士的行動である記者は彼れに殊更らに横綱らしき大きな取口を見せよとは言はぬ 八日目對馬洋を破つた時の如き彼れの本領を忘れず相撲ばん事を望む 要するに勝ちさへすれば人は喜ぶのである

△小結大蛇潟 (伊勢の濱)は二日勝つて三日目から休み玉手も又半休である身體に故障があつた爲めであらうから之れを許すのは遺憾しようさて小結大蛇潟は今前場所は關脇を將として來て彼れが九州山綾川等を破つて鳳の復讐をやつたは人に賞す可きだが相撲に云へば相撲は誠に下手である時々味をやるかと思へば殆んどお話しにならぬ負け方をする彼れの體格力量を以て今一層の修練を經ば大關は間違ひ無い大蛇たるもの奮勵す可きである四日の勝五日の負け一日の預りでお負一つの負越しであるが下から昇つて來るものがないから辛くも位地を保つか或は玉手に代つて關脇になるかも知れぬ負けて上るは變だが負越の多い西方では妙な番附けが出來るであらう

△筆頭金の花 綺に勝ちもせず登場した金の花の勇氣は賞す可きである而かも二日の勝に八日の負けは讚するに忍びない。前の讃は六日の出場に五分の成績だから次は小結に昇進するかも知れぬ大鳴門は元來全く鋭くし技倆も愈々圓熟して大分うまい相撲を見せたが四日の勝ちに六日の負けは余り氣を消沈した西方の中堅としては相當の成績と云はねばならぬ黒潮も七日の負けに二日の勝一日の預りは大不成績だが彼れの取口を見ると中々元氣な處もあつた要するに鳴門と云ひ黒潮と云ひ彼れ等が弱いのでなく敵が強いからとでも云ふより外はない負け越の多い西方で

△石山眞砂石 八甲山與玉子郎の石山が二つ八甲が同じく二つ與玉子が五分眞砂石が一つの負越しであるが眞砂には大錦を喰つた金星があるから何れも揃ひして昇進するであらう中にも小兵ながら石山の前捌の宜いキビ〳〵した取口は負けても勝つても嬉しい元々身持ちさへ惡くなければ中堅を脹はす好力士であるのだ

△意氣男鶴渡 の五分の成績は面白いが元來三役にもなれる體格力量を備へて居る彼れが不勉強の爲め番尻でブラ〳〵して居るのだから之れ位ひは當り前かも知れぬそれに兩けてし當年の名力士常陸山の協心者…い記者は一掬同情の涙を彼れの爲に惜まない…內の不振に引替へて西方の幕下は大に振つたにも

△小兵の紅葉川 が逆川段碕の一手で大敵を薙ぎ倒した奮闘振りは一際目立つて花々しかつた續いて敷島稲葉嶽川崎何れも能く働いた次は綾浪の躍進小野ヶ崎の陷落或は玉椿も退隱せば紅葉敷島玉の川番附は東に居るが西方の入幕を見るであらう此外千葉ヶ崎藤の川國見崎柝幕下には西方も大分有望力士が居るこ丶三四年の後には東西の權衡が大分取れる樣になつて來るであらふ〔終り〕

寄席

▲壽座○○ 二十六日の替りは素人浄瑠璃三升家連中の角力場より主なる役割左の如し 濡衣道心、放駒長吉(圓三郎)娘夕秀、姉おせき(梅若)大內飛弘、下駄の市(寶三郎)曲物太郎、尼妙示(梅藏)行燈岡野梨、茶亭仁助(光十郎)女之助、伴仰、野川の三(龍太郎)莽藤左衛門、長五郎(長太郎)

▲有樂館○○ 力士浪花節綾瀬川一行は愈々二十六日夜限り打上ぐる筈なり當夜の語り物は左の如し
松平長七郎の裾き(吉川若秀)北條武男勝の裾き(桃中軒岳風)鬼若三次の裾き(賓樂亭賓樂)霧水三馬術の納(吉川秀樹)大石の生立(桃中軒雲太夫)力士銘々傳安高丸の裾き(綾瀬川)

▲壽館○○ 燕左衛門は二十五日夜より下足料共平均二十錢二階十錢に引下げ煙草しちぎ又は臨德一個宛を贈る由當夜の語物左の如し
中山安兵衛江戸探り(香右衛門)稲烈百傑(むら慶)義士道北海入道)藪井玄昭(山本松子)左近の最後、金看板甚九郎、飛男の惡鎚寂王長緒三席(燕左衛門)

▲浪花館○○ 遊三一行の東京落語二十六日夜の語り物は左の如くにて大切には神鳳總出の變裝競爭あり
小倉船(三樂)指切り、盆の山(圓之助)數やあんま手頸(遊三郎)しゅ込み(朴樂)香具息子物眞似(遊玉)奕術紙切(梨)五段目(鶴昇)五月月日記割琵琶(三尺坊)おせつ德三郎(遊三)

當選謝禮廣告

小生今回仁川商業會議所評議員選擧に際し幸ひに當選の榮を荷ひ候は偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と奉感謝候先は不取敢以紙上御厚禮申述度如斯に御座候 敬具

白神專一

仁川有權者各位

當選謝禮廣告

小生今回仁川商業會議所評議員選擧に際し多數を以て當選の榮を荷ひ候は偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜こ奉感謝候就ては一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀以紙上厚く御禮申上候 敬具

安保富藏

仁川有權者各位

謹告

今般仁川商業會議所評議員選擧に際し首尾よく當選の榮を荷ひ候は全く有權者各位の深甚なる御同情に依る事こ誠に感謝に不堪次第に御座候就ては一々拜趨御厚禮可申上筈に御座候得共乍略儀以紙上御厚禮申上候 拜具

仁川米豆取引所

仁川有權者各位

當選謝禮廣告

不肖儀今般仁川商業會議所評議員選擧に際し幸に當選致候に就ては先輩諸氏の御指導と各位の御同情に依り專心一意職責を全ふ致す樣心掛け可申先は當選御禮迄如斯に候 頓首

高津新二

仁川有權者各位

當選謝禮廣告

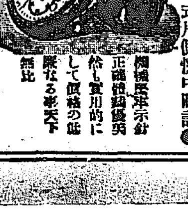
今回仁川商業會議所評議員選擧に際し不肖等幸ひに當選の榮を荷ひ候は偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜こ奉感謝候先は不取敢以紙上御厚禮申述度如斯に御座候 敬具

(いろは順)

稻田勝彥 富山源三郎 大石季吉 川添三次 加來榮太郎 河野竹之助 川井田彌二郎 田中佐七郎 村谷吉藏 藤木利右衛門 坂倉伊平 北島召三 美濃谷榮次郎 平山松太郎 末永省二

仁川有權者各位

新荷著アンクル式片側懷中時計



機械堅牢示針正確精緻優美然も實用的にして價格の低廉なる率天下無比

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を專賣す 御注文の節は代金引換にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

本店 京城本町二丁目電話九七二番 イングレッシー商會

農用種子 果樹苗木 園藝植物類 山林用杉樹種 農具農書雜貨類

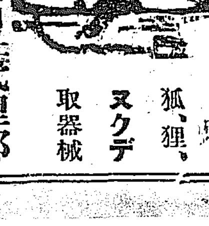
醇良清酒

釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎

特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎

同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

米國ビクタートラツプ會社製 獸類捕獲器 壹個 壹圓五十錢



狐、狸、ヌクテ取器械

仁川濱町 京日仁川代理部

猩紅熱撲滅協議 仁川警察署にては過般來市內各所に猩紅熱…り因に鮮人醫師及び醫生に對しては……築中なりしが客臘十二日既に落成の…其の經常費は毎月二百八十圓の豫算一體不許可の方針を採る山…

三日午後三時半頃內地人用布團一枚…入港高麗丸二等客…

天氣 晴れ一時曇り

日出 七時四十三分 日沒 五時五十分

●ス博士と神仙爐

興味深き朝鮮料理の試食會
拳固を振回しつゝ古蹟保存論

二十四日夜本社の無佛社長の晩餐會に招かれたスタール博士は此處でも二本の箸に神仙爐をつゝつき乍ら却々の朝鮮通を振廻した、席には又朝鮮の學者趙志淵氏もあつて主客却々の御機嫌に見えたが博士は

△肉饅頭を指し乍ら

是は如何にも洋食のパイであると云ふ、主人が又『朝鮮料理は胡椒を多く用ふから汗の一斗も出さねば眞味が解らね、神仙爐は先づ其の第一の關門である』と云へば『否、此の向きでは何れも美味いから關門を潜るの必要が無さ相ぢや』との仰せ、次に主人が支那料理談を持ち出せば博士は如何にもと云ふ面色で『ゼアー、アール、ツー、グレート、コックアース、其れは佛蘭西料理と支那料理である』との返事、日本サケはなか〳〵美味いが盃で飲まねば趣が無いとて硝子コップを退ける、御飯をあげましようかと云へば『否、否、まだ此處の

△團子に蜂蜜をつ

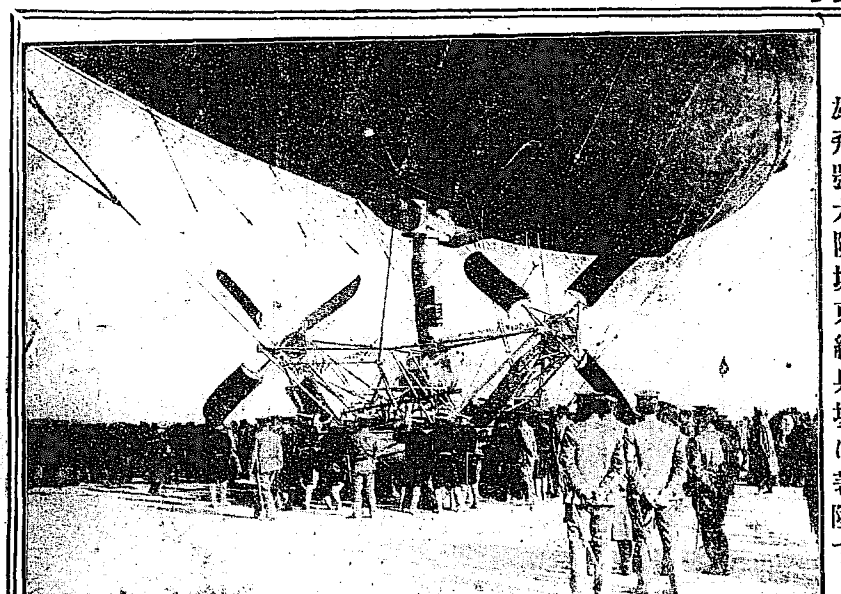
けて喰べぬ間は待つて貰ひたい、自分は元來蜜が嗜きだが朝鮮のは殊に美味い』と仰る。それから主人と博士は朝鮮趣味に於て大に情意投合し願くば朝鮮各地にある古蹟や城廓などを昔のまゝに保存したいといふやうな談になると博士は興に乘じて拳固で卓を打ちながら『如何にも〳〵水原の城など曾て自分が總督にお願ひして置いたものだ』と云はれる次に彼處に小高く石を積むだ臺は何か『あれは

△甚だ珍らしい』

と云ふ質問から『其れは昔しの燧烽臺の跡で其の信號に要する時間は釜山から京城の南山まで僅かに三十分で屆いたものだ』と趙氏が説明する『否、燧烽の事ならば古い米國人の書いた朝鮮研究の書物にある』など次ぎに博士は『朝鮮にある葉錢で紛と餞しは其れから其れへと發展する模樣のあるのは矢張り昔しの通貨であらうか』との質問に『其れは花嫁の用ゐる鍵牌（ユルショイペイ）と稱する鍵飾りであつて通貨では無い、今から約三百年前から鑄造されたもので鳳凰とか觀音像を現したのは芽出度い徴章だ』と趙氏が説明する、博士は又云ふ『自分は曾て墨國で見た石の中に日本の十二支と同じやうな動物の像を周圍に並べた圓形の彫刻を見たが朝鮮に於ても

△往々鏡の裏など

に見える、あれは餘贈如何なるものか』『成程、それは府内徽文義塾構内の天文臺の石にもある』と趙氏が説明する、其の他朝鮮の祝儀に用ゐる蠟燭や木彫りの雁の談から謎々、繪判じなどの談しまで持ち出された上一々其の研究が出來上り博士は非常な大悅びであつた



雄飛號大阪城東練兵場に著陸す

●浦鹽此頃景氣の裏表

紙幣ビラ切るのは軍需品賣込の商人

目下露西亞政府は本國財政の急を救ふ爲め營業税を一割方引上げ之に更に附加税を加へつゝある矢先き輸入税を引上げられしより浦鹽港に於ける本邦の商人は營業一層困難となり昨今并々店舗を閉ぢて本國に引き上ぐるもの多く蔬菜果實商の如きは今日迄十軒程ありしもの目下は五六軒となり物情頗る慘澹たるものあり爲に商工會は目下救濟策につき盡力中にて若し此の儘に放置せば烏港在留の商人中過半以上は資力もあまり豐富ならざるを以て内地に引上げの外なからんかといへるがたゞ其の内日本人經營の料理屋常盤、金時亭、鶴城館の三軒は露國へ軍需品賣込の爲め出張せる三井、大倉、森村始め東京大阪の各商店員が近來バッパと紙幣ビラを切りて陀々羅大盡を極むるより大に繁昌し居れりと而して表面は禁酒令勵行中なるも金さへ出せば灘の生一本の灘香が出來浦鹽にて釀造する『浦正』といふ日本酒もありと（浦汐）

●袁總統乞食に恨まる

當地支那官民は擧に君憲慶賀てふお祭り騷ぎを演じたるが幷は後難を怖れて表面のみの祝意を表したるに過ぎずして其實裏面には今や袁總統反對の氣潮熾なるが如し上流者は言はずもがな貧民町街的に至るまで今更ら前淸皇室の盛德を仰望して止まず彼等は前淸時代に在つては特に大鍋粥廠を設け自分等は遍く施粥されたる上綿入一枚宛を支給されて極寒の苦痛を覺えたる事なきを能く知れり然るに現政府は其の施粥すら行はずとて乞食どもはブル〳〵慄えながら聊か自己本位に袁總統を怨みつゝあり（營口特電）

台所その日

△金絲玉子胡麻酢

鷄卵を鉢の中へこはし少しの砂糖と鹽とを入れかき廻し、胡麻油を敷いた鍋の中で紙の樣に薄く燒き、これを二三枚重ねて巾一寸位の線に切ります、次に白胡麻を煎つて摺り少しの煮返へし味淋と砂糖酢とを加へて摺り裏漉しにかけ小皿に入れて玉子に添へて出すか或は皿に敷いて其上に體裁よく玉子を盛つて出しても宜しう御坐います。

商況

東京債券現物特電

二十五日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖　七二、二〇　……

日本興業　……

朝鮮銀行　……

朝鮮殖産　……

南滿鐵道　一五〇、〇〇　……

東京公債直取引

二十五日出來値段（前日との比較）

五分特別　……

五分利　九五、一〇

一圓四分　……

二圓四分　……

甲五分　……

深川在米特電

二十五日現在高

朝鮮米　一八入、〇四〇

鮮浦米　八九、八四三

内地米　一二九、七六七

東京期米特電

廿五日前場　二月限　三、八五 / 四、〇九 / 四、八九

大阪株式特電

二十四日前場後場（前日比較）

東京株式、大阪新株、大阪米穀、日本郵船、大阪商船、東洋汽船、同上新株、鐘淵紡績、南滿洲鐵道、合同紡績、攝津紡績、京阪電鐵、神戸瓦斯、宇治川水電　[illegible]

大阪三品特電

二十四日前場

限月	前場	後場
六月限	二二、〇八〇	二二、〇六〇
一月限	二二、一八〇	二二、一九〇
二月限	二二、三二〇	二二、三三〇
三月限	二二、三〇〇	二二、四一〇
四月限	二二、四九〇	二二、四九〇
五月限	二二、五九〇	二二、五九〇

大阪期米特電

△二十五日前場

當限寄付　一三、六四

中限寄付　一三、八二

先限寄付　一四、六四

下關期米特電

賣買停止

朝鮮物産特電

馬山改良、慶州改良、木浦改良、同改良、群山特改、同上改良、仁川改良、南浦改良、釜山中白、釜山上白、仁川中白、仁川上白　[illegible]

宮川大豆、沃川大豆、鳳山大豆、龍山大豆、城津大豆、仁川小豆、平壤大豆、木浦大豆　[illegible]

雜報

●株式愈強健

東京株式は二十二日同盟罷業妥協後の氣味あり寒心は悲觀的材料と見做され市場は沈靜なりしも好材料續出し前場は強含みなりしが週末の手仕舞ひ買物多く東株を始め一般に...[illegible]

●綿糸綿布底堅し

瓦斯綿糸類は常に下落り勝なりしも七番物は對支輸出の不振に由り若干重目を呈したるに二十日商況は益々出來高に及べり支那の帝政延期に伴ひ五二十四圓の賣物を迎へ一圓高を以て前場大引は二十四圓五十錢となり後場は更に五十錢方を釣り上げ地は目下依然とし堅調を持續し五錢内外の高値を示せり

●空鑵の急落

石油空鑵は材料缺乏の市價暴騰と大連市場より頻々買注文入込み其結果は一箇十八九錢止りの物が過般來四十五錢乃至六十七錢よい珍高値に賣買行はれ此間商況は大連方面へ盛に積出されたるが[illegible]

大連市場俄然買止めの飛電に接す

[illegible]一兩日前大連市場俄然買止めの飛電に接するや同地向の大半は賣止めとなり[illegible]前日迄前記の高値に買行はれしもの昨日よりは二十五錢買と云ふ安値に至れり

確實　迅速　仁川海岸町　取引所仲買人　[illegible]　電話六〇番　六一三二番

●石炭酸大奔騰

七圓五十錢乃至八圓に珍高値

歐洲戰亂勃發以來化學品類の騰貴は非常なるものにて[illegible]

●染料會社の新設

今後は染料製造原料の買收の起るべし

[illegible]

●米餅第二回入荷

好人氣 二十六圓五十錢處

米餅第二回輸入は二十四日入港[illegible]

●明太魚デリ安

十三圓五十錢處　見當二十八圓

[illegible]

一手販賣　田中金兵衛　電話[illegible]

●生鮮多少氣直る

ボアン物七十五圓

[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は依然軟弱　其後出廻り當地にも何分内地米の益々不勢に陷りつゝ[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

▲二十五日前場　大阪四節七十錢と高移　九節七十四錢と更に高移

[illegible]

市場零聞

前場の商戰

[illegible]

▲前場小高し

大阪跡高を受け一手に六千石の大賣物を發し一手に買

[illegible]

向來り活氣立ち

三錢小堅き轉じて反抗來

散會を告げ市の賣り倒

[illegible]

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　電話[illegible]

▲人氣賣逸る

鉾を收め大賣物の急先

市場の形勢何となく一變

▲寥續て賣る

同店の賣は益注目

張氣一貫

▲小底か否乎

或は五十錢の最安値

目先小底

仁川米豆取引所

二十五日の三月限

	前場	
寄附	[illegible]	
高値	[illegible]	
安値	[illegible]	
引	[illegible]	

賣買取組高

乾物小賣相場

[illegible]

吉　行賣仲買店　仁川海岸町　電話[illegible]

敷島六本の價が口中衛生の安危の岐れ目

陸海軍人を始め一般智識階級の覺醒
高級齒磨の仕用を奬勵する聲益高し

昨年十一月四日東京宮に於いて大觀兵式を行はせられたる日クラブ齒磨本店中山太陽堂は海軍將校三千名に對しクラブ齒磨小瓶一個宛を又下士卒三萬人に對してクラブ齒磨小瓶一個宛を贈呈したるが其の際クラブ齒磨に添へて頒布せる趣意書は極めて面白く有益なるものにして一般人士の必讀かと認められ好評嘖々たれば左に之を轉載すべし

國家の干城たる貴下の御健康の爲め

謹呈せる此の一袋の齒磨は三十日間の御使用料に有之、此の價は平素僅か金五錢を以て提供致し居り候。最新最良の此の齒磨の價は三十日分金五錢、即ち一日分只の一厘七毛にも足らず候。一厘七毛は『敷島』一本の代價の六十分の一に相當し『敷島』一本の代價の三分の一に過ぎず候。此の僅かなる一厘七毛の費用を以て口中衛生を最も完全に保ち、御氣分の爽快は申すに及ばず、口臭口熱を絶對に除去し、齒痛を未發に防ぎ、食物の消化を助け延いて

御公務上の効率を促進

し得る次第にて、此の理想的齒磨をクラブ齒磨と名づけて發賣致し居候若しも口中衛生上の効果を顧みず、唯數を多く賣らん事をのみ目的として安き齒磨を造るとせば、如何にしても右の如き顯著なる効用を具備せしむるを得ず、是れ坊間に發賣せらるゝ齒磨の多くが無害無効なる所以に候。假に斯の如き安齒磨の價一袋一錢五厘とし、二十日間の使用に堪へ得るとせば一日の費用七毛五朱に該當し、高級齒磨を使用する場合に比して僅に九毛五朱の差に過ぎず、即ち一箇月三錢に足らざる差額に候。只の三錢即ち

敷島六本の差額を吝まざると否とに依て

口中衛生の安危が岐るゝ次第に候へば昨今軍隊を始め智識階級に於て高級齒磨の使用を奬勵すべしとの聲高きも、全く此の自覺に基く事と存じ候。齒磨位と輕視するは大なる誤りに候。齒磨の良否は延いて士氣に影響を及ぼし其の關渉する所頗る重大なる問題に候。有力なる某軍醫の談に依れば、出征中最も困るは、此の爲め齒痛を起す者多き事にて齒痛は士氣を阻喪すること甚だしきが故に齒磨の撰擇には頗る苦心せりと而も

最新最良のクラブ齒磨現はれてより

軍隊にては全く此の憂へを免れたりとの事に候。弊店は此の機會に於て、國家の干城たる貴下の御健康の爲め、最新最良のクラブ齒磨の御愛用を祈るものに候。云々右の次第にて近來クラブ齒磨の信用益々厚く、各階級に於ける常用の増進は驚くべき盛況を呈しつゝありといふ

●御手輕化粧法

（第一に）先づ石鹼よりも牛乳よりも遙かに有効なクラブ洗粉で能くお顏やお手をお洗ひになり、

（第二に）お化粧下として一番評判の好いクラブ美身クリームからクラブ美身ゼリーか或はクラブ乳液をお顏から襟元へかけて十分塗込み羽二重の類で能くお拭になつた後不思議の生地の色までも白く

（第三に）美しくなるクラブ白粉か又はクラブ美の素白粉を塗つて未だ水氣ある内に牡丹刷毛で力を入れて大きく上下に刷き延ばし、

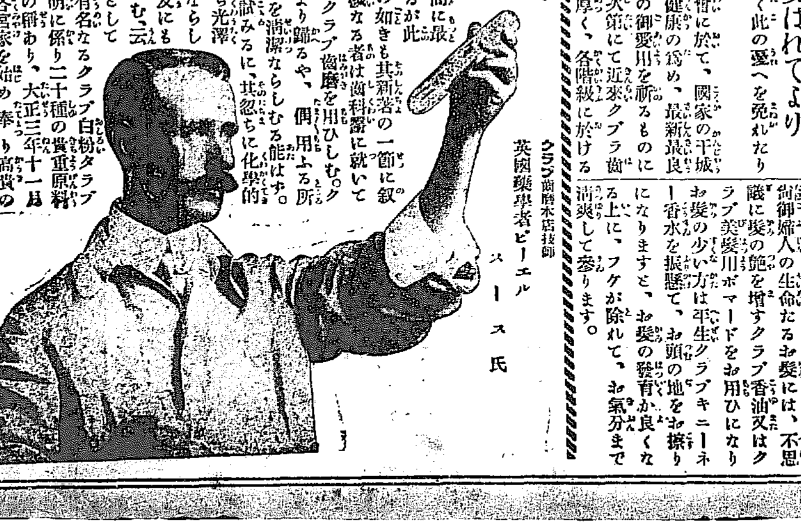
（第四に）水刷毛で白粉を平均して其の上を搾タオルで押へ水氣を除り兩の頰と、目の邊りを眉へ

（第五に）かけてクラブ頰紅を薄く刷くのでございます、耳に頰紅を塗るのも一つの秘訣でございます、

（第六に）頸には襟足を取り、顋の下から咽喉へかけては外より少しく濃く白粉をお付けになりますと、お化粧が水際立て美しく見えます御婦人の生命たるお髮には、不思議に髮の艶を増すクラブ香油又はクラブ美髮用ポマードをお用ひになりお髮の少い方は平生クラブキニーネ香水を振懸て、お頭の地をお擦りになりますと、お髮の發育が良くなる上に、フケが除れて、お氣分まで爽快して參ります。

醫學者間に信用最も厚き理想の齒磨

帝國醫科大學、各醫學專門學校を始め、齒科醫學者間に最も厚き信用を有する理想の齒磨はクラブ齒磨なるが此天下一品のクラブ齒磨に付きドクトル羽太鋭治氏の如きも其新著の一節に叙べて曰く『口内炎を來す事あれば余は其齒牙の汚穢なる者は齒科醫に就いて齒石を除かしめ、其齒牙を清潔ならしむる上に於てクラブ齒磨を用ひしむ。クラブ齒磨は余が理想的の齒磨なり。昨年余が獨逸より歸るや、偶用ふる所の齒磨が粗惡にして、機械的に幾回摩擦するも齒牙を清潔ならしむる能はず。之を遺憾とせしが、料らずもクラブ齒磨を得て之を試みるに、其忽ちに化學的に齒牙を清潔白色ならしめ、摩擦兩三回にして忽ち光澤美麗の齒牙となり、口内の惡臭を除き齒牙を健全ならしむるを實驗し、余の日常と雖も之を使用し、知人朋友にも力めて之を用ひしめ、又口内炎の人にも之を用ひしむ』云々と其他有力なる多數の醫學者より理想の齒磨として推奬されつゝあるクラブ齒磨は、日本名物として有名なるクラブ洗粉本店技師英國藥學者ピー・エル・スミス氏の發明に係り二十種の貴重原料を配合謹製せるものにして品質信用夙に本邦第一の稱あり、大正三年十一月十六日以來畏くも宮内省御用の光榮を忝うし尚各宮家を始め奉り高貴の御用命常に絶えず近來各階級に於て驚くべき需用の増進を示しつゝありと云ふ



クラブ齒磨本店技師　英國藥學者ピーエル、スース氏

…全部二十二日鮮人醫師及び醫生全部を同階上に集め猩紅熱豫防法及び消毒法に就き種々懇談する處ありた

…主教會にては…院創設の計畫をなし經費二萬餘圓を投じて大邱南山町に壯大なる建物建…孤兒又は極貧の女兒を養育教導し優良なる信徒を養成するにありと因に

…間中にも不拘從漁する不正者あるため今回其筋にては斯かるものには[illegible]

●布團を盜む　仁川府居住江…郎方に於て窃取せる旨自白せり…原道…面…無職金九五（廿）は廿…

●連絡船上陸客　廿四日午前…番地三號廣瀨太…二等一名…宮崎春吉…新野松次郎…四十一名

豫報

京城溫度　廿五日正午…氷點下九度七分

越後大評定

第百十一席　早川貞水口演

綱國の隱居

出家は人を助くるが道で御坐います、別て大檀家の若殿樣、捨措く譯に參りませぬから、月山和尚は御屋敷へ出て、此事を申入れますと御親成方が御會合になつて、種々御家督の儀に就いて御相談あそばし、迚も三河守を以て當家の主人となし置くこと能ひ離し、併しながら本人悔悟の上は、隱居申し付けるとあつて、何と住持が嘆願をしても、御聽き屆がない、無い譯で御坐いまして、小栗はじめ惡人輩が仕組んだ仕事、住持などの力に及ぶべくもありませぬ、

據ろなく和尚は立歸つて此事を申上げる綱國公も、實は今日は何とも申しようがないに依て、和尚の御弟子になつて、坊主になると仰しやつて、御剃髮あそばし、御若い御身の上を、御法體となつて、御名も光山と改められ、竝に染井の御下屋敷へ押込隱居と相成りました、若殿三河守御付きの面々は『あゝ傷はしき事なり』と云ふのも、渡邊九十郎殿が、京都男山八幡に御代參を仰せ付けられた、其留主中の出來事、九十郎殿御歸りになつて、此大事を御聞きに相ならば、定めし御驚きであらう』と、心あるものは內々淚を以て語り合ふ、左樣なことも一向知らず渡邊九十郎は、京都男山八幡の御代參を致し、御家の武運長久、御子孫繁昌を祈り、京都の見物も濟ませ東海道を急いで立歸り築地の御屋敷へ着きますと父の佐太夫は、倅九十郎の歸宅致したのを大層喜び　父『アヽ此程は御苦勞であつた、嘸かし疲れたことであらう、寛緩休息致せ　九『御父上には別段御變りもなく、何より喜ばしく拙者は御代拜を相勤め、御武運長久の御祈りを上げました、只今無事歸宅仕りまして御坐る御安堵下し置かれ度く　父『アヽそれは大儀至極其身無事の顔を見て父も安堵致したが併し九十郎　九『はつ　父『其身が立歸たるに弟の九三郎、左門の兩名の見えぬは不思議に思ふであらう　九『拙者も不思議に存じ居りまして若しや病でも重りまして　父『サア病なら致方がないが、其身が不在中に若殿樣は吉原へ御通ひ遊ばすにより水門の所にて左門が御諫言申上たるに、比留間、正木の兩名が、殿樣へ申上げ、終に左門を御手討　九『エ、ナニ左門が……　父『それ承はりて見九三郎は病氣を押して、水門の御船の中で御異見を容れたるに、是また斬て終ふとの仰せ聞けば比留田正木の兩名が、九三郎を斬殺し、又左門にも刀を浴せたりと云ふ返す〳〵も無念やる方なく、其身の歸りを一日千秋の思ひで待て居た、宜う無事で歸てくれた、之を申し聞けたならば定めて驚くであらうと實は心の中に苦しみ、無念を耐へて其身の顔を見る迄、如何と思ひ居つた　九『それは病中である父上に、斯程御苦勞を相掛け又頼に思ふ子弟兩名を、御主君の御怒りとは申しながら、一時に失ひたること、如何にも殘念至極是れと云ふも比留門正木兩名の所業より起りしこと必ず舍弟の仇は討てやりまする』是から佛壇の中に納めある兄弟の位牌を執出し、ハラ〳〵と落淚。

一月廿七日九星　舊十二月廿三日癸亥　本命六白　乾　開　佛滅

▲六白●　一本調子にゆかぬ事有日　新を見合す　神佛の事は吉　晴劇乾▲七赤●　利益增大の日　轉居開業入學名弘求職棟上採鑛　婚禮等吉　物に勝の日▲八白●　歌舞の日　轉居旅行　出獵求職　建前金融　婚禮上工請負等萬吉▲九紫●　閑におちぬ事有日　新規手控着手は吉　何事も防がるべし▲一白●　叶日　轉居旅行出願　名弘求職棟上婚禮大なる金融等萬吉▲二黑●　百事利達の日　轉居開業旅行名弘求職金融讀組種苗を求る等萬吉▲三碧●　餘裕なき日　新規手控着手は吉　一切のかけ事せぬがよし▲四綠●　損德五分五分の日なれども新事捨目の方吉　發明開發は妨なし▲五黄●　顕榮の日　轉居旅行入學　金談　出漁求職　建造名弘　婚禮等吉

泌尿器病　入院隨意（診察夜九時迄）
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病　專門
永樂町二丁目　金光教會隣り　安部醫院　電話四一九番

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三番
廿六日より大寫眞提供 ○實寫サロニカの實況 ○布袋人形の替玉（喜劇）○デンマーク、ヌンマルク會社最近傑作 ○軍事大探偵大活劇『黒裝束』全三卷 △中國の機密を探らんとし馬丁となりて住込む探偵の冒險之れを看破し災危を未前に防がん手段に新へ暗夜黑影一團邸内に亂入す果然惡漢は最后の行爲は？令嬢の奇抜なる活躍より遂に汽車の逃走軍隊の出動となり未曾有の大活劇は如斯して驚天動地の大修羅場を演ず壯絶亦痛快 △日活專屬澤村四郎五郎立花貞次郎合同一派 △讀賣新聞連載渡邊霞亭先生ノ傑作 ○新派家庭劇『まごころ』全三卷廿八場 △新婚の樂しみに夢の如く暮せし可憐の妻哀れ世は無情平和なりし家庭も須臾にして悲慘に陷り可怖可忌惡疾は一家の呪ひ奈落の底に陷れんとす快よく身心を以て自己の犠牲として奮起なせる優しき妻の雄々たる志操は二ヶ年の難行苦行時艱の家庭に始めて一道の光明を與ふ正に之れ當代稀に見る貞婦の亀鑑なり △日活京都撮影所專屬尾上松之助一派出演 ○舊劇三樂莽譽の俠骨永樂德太郎　全三卷　入十一場

壽館　壽町　電話一〇五〇番
廣江藻愛煙家の福音　早稲田大學出身の本多哲學館左衞門と浪界の紫式部（中川）合同の浪花節で聞ける平壤へ御出の御方へは下足料共金二十錢で廣江四帝會この〳〵らき一個を差上げます二階（へ御出の御方へは下足料共金十錢で廣江四帝會煙草五本の廣總一個をお早い方二百名を限り差上げます下足料共金五錢で二階桟方で好く聞かれます十日目替り
武士道の譽（文右衞門）稻川次郎吉（燕若）中山安兵衞江戶探り（香右衞門）義烈百傑（むら雲）義士道（北海入道）藪井玄齋（山本松子）左近の最後、金看板甚九郎、義勇の譽嚴龍王（長講三席樂左衞門）

浪花館　明治町　電話二六〇番
東京落語三遊派幹部一行
御祝儀寶之入船（三遊亭當三）二人旅播州巡り（同三勝）伊勢參宮（桂圓之助）たらちめ（三遊亭遊三郎）道具屋（柳亭春樂）動物音聲（三遊亭遊玉）即席紙影劍（鶯宿亭棋陽）源平穴探（三遊亭圓昇）時世笑話滑稽琵琶（瓊浦庵三尺坊）小言幸兵衛歌舞（三遊亭遊三）大切座員總出即席笑話
三遊亭遊三一行の驍撥戲爭、大切餘興として二十三日より始めたる場內懸賞戲爭は非常の好人氣にて發見者にはそれ〴〵景品を呈しつゝあり
二十五日　圓昇、三勝、お茶子一名

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七
大然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
○一月廿六日より提供の三大寫眞 ○日本寫眞株式會社特別細工實況 ○泰西滑稽活動役者
○維新史傳　白虎隊　全三卷　壯絶慘絶亦悲絶實に鬼神をして泣かしむ △國籍コンチネンタル會社大傑作
○泰西探偵大活劇　獨逸地下室　全四卷　△エジプト駐在のドゥソンと云ふ士官と惡漢が密說の似て居るを幸とせし惡漢はドゥソン士官の前嫁に近づき惡事を働かんとせしも探偵ヴェッブの神出鬼沒の活動に依り奇命に遭遇せしドゥソン大尉を地下室より救ひ首尾よく惡漢を捕縛せしと云ふ大探偵劇
○新派悲劇　回る春　全三卷　波瀾萬丈活劇あり悲劇あり克く現代社會の裏面を遺憾なく描出して當繼なし加へて久方振りに山崎長之輔一派大東輪出演　△音樂隊の招聘に△御一悠用團體觀覽者は豫て申込は電話番長四七七へ

壽座　本町　電話五七八
前狂言　苅萱桑門筑紫の𨏍
切狂言　双蝶々廓日記　大序より大詰まで
廿六日替狂言

御成座　御成町　電話二九一
二十三日目藝題
人の妻
喜劇　越後獅子
第一　殺部の場第二　飛鳥山の場第三　持明院破家の場　第四　碁盤沢　遊郭の場第五　下谷の場第六　元の破家の場
顔寶道心、成駒長吉（團三郎）姐夕霧、姉おせき（梅若）大內鄰助、下駄の市（留三郎）吉野太郎、尼妙休（松蔵）行商阿孫梨、茶湯仁助（光十郎）女三助、伴僧、駒山の三（繁太郎）齋藤左衞門、長五郎（長太郎）
特等七十錢一等五十錢二等三十錢三等十錢

佐久良座　新龍山
新派自然劇園三輪寳一行
二回目藝題
悲劇　入日
喜劇　日本の橋　妻
小島孤舟先生作
全七場　全三場
二回目藝題
新野化地　藪崎　七場　三場
（配役略）

有樂館　本町一丁目　電話二六六
浪花節綾瀬川山左衞門一行
力士廿五日七日目演題
◎北條武勇傳の續き（吉田若秀）◎松平長七郎の續き（吉田若秀）◎鬼若三次の續き（喜樂亭喜樂）◎桃中軒岳風）◎寛永三馬術の續き（吉川秀廣）◎大石の生立（桃中軒雲太夫）◎力士銘々傳安高丸の續き（綾瀬川）
大切餘興として一人り土俵入り四十八手裏表七五三弓取迄御高覽に供す
◎番外御好み相撲甚句
特等六十錢一等五十錢二等三十錢三等二十錢

腋臭必治劑　わきが
本劑は腋臭の病原たる汗腺を變質せしむる著効ある最新發見の新藥なるを以て難症ワキガにも偉大なる著効を奏す從來他の類似藥劑は速治を期するも似て非なる者は其病原を去り治癒せず悲觀煩悶せる患者は試みに本劑を服用せよ
價　輕症用壹圓八拾錢　慢性症用貳圓八拾錢　特製四圓八拾錢　重症用五圓
東京北品川町百八番地　日新舘製劑部
電話芝四七七　振替東京貳壹貳貳

クスリはホシ　製劑四十余種各特約店にあり
東京京橋　星製藥株式會社

月やく
月やくの不順は心配　御婦人の身體に害なく通經する良法
東京神田錦町三ノ一九　堀田けい

アレを防ぐ色を白くキメを細かに眞の美人となる家庭化粧料は―ホーカー液に限ります

ホーカー液廣告詠込の懸賞和歌俳句募集

問題は極簡短です、要するに新派たると舊派たるとを問はず、總てホーカー液廣告詠込の俳句和歌たればよし

―ホーカー液は『現代』が生んだ理想的の家庭美容化粧料ですしかも日本にたつた一つしかない國產化粧液として、都會は申すに及ばず今や全國到る處貴婦人令孃奥樣方を始めとして紳士間にも湧くが如き好評を以て熱愛され從つて如何に本品が他の化粧液に優つてゐるかと云ふ事に就ては世間既に定評ある事ですが今假にこの純良なホーカー化粧液が實際に持つて生れた効能の二三を列記いたしますと

但し

ホーカー液は色を雪の樣に白く、キメを細かに
羽二重の肌の如くに麗はしくし、冬の木枯風にも肌荒れがせず
白粉のノリ、ノビを思ひのまゝに白粉のトキ水によく
紳士の髯剃後、洗面後等に用ひて頗る快感を與へ……其の他子供衆の皮膚を丈夫に美しくするのです

東京で一番よく賣れる化粧料　**ホーカー液!!!**

應募の俳句と和歌は切實にホーカー液の効能を詠み込んだものか、でなければ成るべき實感的な句を歡迎いたします

賞品
一等　三越五圓切手　五人
二等　同　三圓切手　十人
三等　ホーカー液大瓶　三十人
四等　同　小瓶　五十人
五等　ホーカースキート定價十四錢　百人
右は和歌、俳句共各等呈上

應募規定
▲用紙はハガキ一枚一句宛の事
▲この新聞名を記す事
▲宛名は『東京神田和泉橋、堀越嘉太郎商店廣告部』
▲ハガキの表面には『應募和歌又は俳句』と朱書する事
▲〆切は大正五年二月十日
▲發表は三月以後各新聞紙上
▲選者堀越商店廣告部

光榮　大正四年十二月十五日ホーカー液は復又宮內省御買上の光榮を得す

冬とホーカー液
朝お洗面をお使ひになつた後で、たゞ一二滴をお掌に落して兩手で顔から襟足首へかけてよくお塗り下さいさすれば冬の風にも肌荒れ等のする心配等は少しもありません又
入浴後に同じくホーカー液をお使ひになる事を忘れない樣にして下さいやがて然うする事が所謂垢ヌケのする順序となるのです素顔美を發揮させるには最も理想に叶つた方法です
化粧をする時には必ずホーカー液を白粉下にお用ひ下さいトキ水にしてお使ひ下さつても何れにしても白粉の斑が出來ず極自然の白さに塗れほんとうにお化粧の仕榮えがいたします
男子方の髯剃後にお用ひ下されば剃刀マケを防ぎます。

ホーカー液に限ります

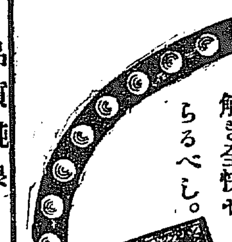
手足のかゆみいたみがよくなをる
しもやけ根切藥
各藥店に取次あり　五錢　十錢　廿錢
本舗　東京日本橋上槇町　安川晃榮堂

マルセル石鹸　定價（甲）二十錢（乙）十七錢
△マルセル石鹸は絹物せんたく用唯一の石鹸でございます
△マルセル石鹸は普通洗濯に御使用なりましても能く汚垢を落しまして減りが少なふございますから御應用でございます
仁川濱町（京日仁川代理部、電話二四〇）
洗濯石鹸各種販賣　仁川石鹸製造所
特約店小賣店　仁川本町安保商店　京城明治町月本商店　各藥種店。雜貨店。化粧品店

恩給立替貸金
黄金町通櫻井町入軒西四ツ角
元祖　博多屋本店　電話二三一番

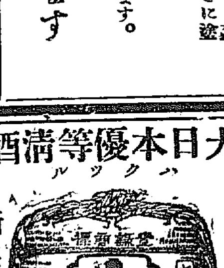
資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百廿五萬圓
株式會社　**第一銀行京城支店**
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

ハカリ印
油斷大敵！
かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。



大阪田口のヘブリン丸を　ハカリ印のヘブリン丸と改め候

大日本優等清酒　ハックル
品質純良　衛生無害



攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

汽車
京釜線　南行　北行　京義線　京元線　[illegible]

京城日報　第三版
二十六日朝刊　（第三千十一號）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
印刷人 [illegible]　發行人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

大阪期米符電 [illegible]

▲後場の商況 [illegible]

▲本日の現物高 [illegible]

總督の諭告と吾人の覺悟

二十、遞信事業

通信機關の整理と事業上の施設改善とは、内地人の増殖及び朝鮮人の通信力發達と相俟ちて、事業の全般に亙り大に舊來の面目を革新し、併合前年度に於ては通常郵便物引受數四千五十八萬一千餘通、小包郵便物引受數四十八萬九千餘個なりしもの大正三年度に至りては通常郵便物七千七百四十一萬九千餘通、小包郵便物百九萬九千餘個を算し、郵便爲替の振出額亦二千四百五十三萬九千餘圓より二千七百十九萬五千餘圓に増進せり。又た電信電話に在りても比年其利用者を増加し電報發信數は百六十二萬六千餘通より二百二十五萬八千餘通に、電話加入者は五千五百餘戸より九千五百餘戸に増進せるが殊に郵便貯金の如きは生産の増加と貯蓄心の向上に由りて年々著しき好成績を示し、朝鮮人而已を以ても、併合前年度末現在に於ては預入一萬四百餘名、預金額十一萬七千二百餘圓に過ぎざりしもの、大正三年度末現在にありては預入五十四萬八千餘名となりて殆んど三十倍の激増を示し、預金額亦百十三萬一千六百餘圓となりて約十倍の増加を見たる而已ならず、大正四年末現在概數は預入數六十二萬六千二百餘名、預金額百七十七萬七千三百餘圓を算し、益々異常の増加を呈しつゝあり。總督が今回の諭告に於て

通信機關の擴張に伴ひ、其利用者の頗る激増せる事實を卜す可し。

といへる、洵に至言にして此一事を以てするも、優に既往五箇年間の施政が百般の事項に亙りて、如何に多大の效果を收め來れるかを窺ふに足る可し。

此他總督は嘗て委縮振はざりし航運事業を振興せしめむが爲め海事に關する諸法規を制定して從來の缺陷を補足し、或は命令航路の整理を遂げて之が保護奬勵を圖り、或は須要の地點に航路標識を增設する等大に其施設と指導に盡し來れる結果、海路の交通は漸次發展の機運に向ひ、船舶、海員の數亦比年増進の趨勢を呈するに至れり。即ち大正三年度に於る命令航路は沿岸十一、河川三合計十四線路、使用船舶數沿岸航路十七隻、河川航路百三十六隻、合計一百五十三隻にして、又同年度末現在航路標識數は二百十七を算し、之れを併合當時に比すれば六十六を増加せり。尚ほ電氣行政に關しては併合後電氣事業取締規則を制定し、之が營業に對しては許可主義を採ることを明確にし、且つ事業の危險防止等に就き精細なる事項を規定せり。斯くて併合當時に於て電氣事業を開始したるものは僅に京城、釜山及び仁川の三會社に過ぎざりしも、大正四年三月末に於ては其數十七に達し何れも完全なる發達をなしつゝあり。而して明治四十四年四月より着手したる發電水力調査事業は既に大正三年六月を以て外部の作業を了へ、目下調査書の編纂中なれば遠からず完成の運びを見る可く此結果が朝鮮電氣事業の將來に裨益する所決して鮮少ならざる可し。

支那の鐵道（下）

雲南鐵道

一八九八年九月印度支那商等會議は愈々印度支那幹線鐵道並に支那進入鐵道計畫を立て成るべく短期間に速成せしむべき決議をなせり。其計畫案中『老開より雲南に達する支那進入鐵道』は即ち雲南鐵道案にして他の諸案と共に佛國政府の承認を經更に議會を通過して同年十二月法律となりて公布せられたり。此の法律は印度支那政府に於て同年四月の清國との條約により獲たる佛國に讓與せられたる雲南鐵道線の敷設營業に關して或る一會社と契約を締結するを得るの權利をも承認せり。

茲に於て佛國の多數銀行家の協議の結果下調會社組織せられ、調査財團の專門家は親しく雲南地方を踏査する事となり、一九〇一年には完全なる調査を遂げ、其結果印度支那銀行其他諸銀行相協力して一の特許會社を組織したり、雲南鐵道會社即是也。會社の資本金は一千二百五十萬法とし、印度支那政府は之れに對して同じく一千二百五十萬法の補助金を交付し、且つ協定銀行間は一箇年三百萬法を限り利子の支拂を保證せる公債七千六百萬法を引受る事となり總額一億百萬法を以て雲南鐵道敷設及び營業に要する資金となせり。滇越線は海防に始まり新興を過ぎ雲南府に到る豫定なりしが工事困難の爲め一九〇四年に之を變更し、尚ほ敷設費を一億六千五百萬法に增加し一九一〇年に至り老開雲南府間幹線二百八十九哩及び蒙自思茅間支線二百十三哩の全通を見たり、此線は又滇越線とも稱す。

正太鐵道

一八九八年露國と白耳義と協定の下に山西線條約の締結を見たるが、始め露清銀行の任命せる一技師は京漢鐵道を山西省と連絡せしむる鐵道線路を調査して其有望なることを報告せるより一八九八年右の條約成立の運となり、其後條約の改訂を見、一九〇三年に露國との間に正定鐵道借款契約成立し、石家莊、太原間百五十一哩の線路は一九〇四年起工一九〇七年秋を以て全通するに至れり。本線は支那政府の借款官辦たり。

新寧鐵道

新寧鐵道は純粹の支那鐵道にして、其の資本金は全部支那の供給に係る。米國桑港にて財産を作れる支那人某資金四百萬弗を以て公益より約五十哩の線路を敷設せんが爲めに特許を得たるに始まり、現在新寧鐵路公司の商辦にて三夾より新寧、公益を經て江門に到る六十三哩餘の全通を見る。

冬の川

平南沿海の鯛

△空釣漁業　平安南道に於ける鯛の漁場は大同江口より平原郡漢川浦附近に至る沿岸一帶の沖合にして主として『かんぎゑい』を釣獲するが故に解氷期乃ち三月下旬より四月下旬迄の初期に於ては八浬程の沖合に五月上旬より六月下旬迄の盛漁期には沿海三浬程の沖合に於て漁獲に從事する由にて終期は七月上旬より九月下旬迄なりと從漁船は福岡縣六隻佐賀縣一隻鎭南浦在住者一隻計八隻なりしも始漁後間も無く福岡縣より來漁したる四隻は平安北道沿海に轉漁し黄海道在住の鮮人漁業船一隻ゑい空釣漁業に從事したり出漁日數は天候の如何に依り一定し居らざれ共凡を三四日にして歸帆するを常とし一箇月平均八回位を普通とす漁獲高は大正四年の解氷期遲延したるを以て一般漁業者は三月下旬に至り漸く出漁するを得たるが天候概して順調なりしかば三年よりは却つて成績良好にして漁獲高は總數量五千二百貫價格二千八十圓に達し漁獲物は何れも生鮮の儘鎭南浦魚市場に揚陸販賣を常とすと

△延繩漁業　延繩漁業は大同江口沖合より黄海道長山串に至る一帶の沿海に於て四月中旬より六月下旬に於て行はれつゝあるが從漁船數は愛媛縣七隻山口縣四隻兵庫縣三隻長崎縣四隻大分縣五隻和歌山縣五隻黄海道十三隻合計四十一隻にして鎭南浦及び黄海道松禾郡椒山島を根據としつゝ有り漁獲高は例年とは大差なかりしも近年鮮人漁業者の發達著しき爲め急激に增加し昨年總數量一萬五千百十三貫價格四千八百九十九圓に達し一隻の最大漁獲高は二百八十二圓最少七十五圓にして平均百十九圓五十錢なり通じて一隻平均[illegible]而して鮮人漁業者を[illegible]漁獲物の處理及び運搬販賣は鮮人漁業者は重に在住支那人に販賣し且つ出漁に便なるが爲めに多く椒山島を根據と定め其の餘の鮮人は鎭南浦に生魚の儘魚市場に販賣するを例とし稀には沿岸の部落に販賣する目的を以て假泊する事あるも若し販賣せざる場合は塩藏の上鎭南浦に歸帆すと（平壤）

征途中より

大西洋上にて　八洲生

△米國人氣質　米人の性質は鷹揚である、ヒネクレて居らぬ、是を是とし非を非とする公平な態度がある、邪推を逞うせぬ。人と接して牆壁を設けぬ、表裏がない、秘密がない、策略がない、概して正直である、其代り輕燥で、突飛で、お調子に乘り易く、新を好み、奇を好む風がある、とは在留友人等の異口同音に評して居つた言葉である

米國の商店工場等に出入して居る友人や官府の役人連と往來して居る我外交官の話を聞くに、米國にては一階級にても上役の者は其下級者よりも智識に富み自己の仕事により多く通曉して居ることであり、歐洲にても亦た同樣であるが努力の要求が少なく生存競爭の激しくない、情實の流行する國にては上役の智識技能が下役に劣り、上役は尸位素餐、社會の秩序ある進歩を妨げることがある。大いに警戒せねばなるまい

自分が華盛頓を立つ日の新聞に、其前日に於けりウイルソン大統領の動靜が出て居つた。大統領は朝來教書の起草で多忙を極められて居る。是れ議會の開會も目前に迫り明日中には教書を印刷局へ廻附せねばならぬ故である、大統領は午餐後少時の散歩を爲されたのみにて再び其の書齋に籠り教書のタイプライター起草に沒頭されて居られた云々。と書いてあつた。教書を大統領が自ら執筆し他人の力を借らぬなどは流石に平民國の元首であると感心された。

大統領の教書は華盛頓以來の慣例で議會に代讀せられ、大統領は議會に出臨されぬものと極められて居り、從て議會には大統領席の設けがないのである昨年ウイルソン氏は先例を破つて議會へ出馬し堂々と教書を朗讀ではなく演説されたとのことである。之では『メッセージ』の名稱も變なものであるとの說もある。此議會出臨に關し當時異論もあつたが大統領は民選の元首たるものが國民の選良と接觸して政治を論じ得ぬとはない、慣例がなくば自分之れが例を作らんと主張され、異論者も遂に屈服したとの事である。今年の教書も多分大統領の口より直接議會へ演述せらるゝであらうとは一般の信ずる所である

京日詩壇

○和爾宥成田詞兄新詩十絶　齋藤三寅

[illegible]

日報歌壇

□御母に別れまつりしと聞く古都子様へ　京城　高橋蝶子

未だ逢はぬ君にませもたらちねの母に別ると聞けば悲しも

かゝはりのあらんあらねばなどおもひ思ひかへせど心晴しも

十二月一日君は御母に別れぬと悲しき日かな十二月一日　京城　美智香

○或の家にて

母と二人炬燵にあたり行末を語りつくせば日の暮れにけり

浸み／＼と懐しきかな訛りある君が言葉の故郷の家

涙する乙女も我れよ幸福をつく／＼思ふ乙女も我よ

讀んで面白くそうして強き月刊雜誌　二月號

現代くらぶ

定價一部金二十五錢

■創刊號に題す……■東京だより……在京一記者　■新年の研究……追究生　■戰いの國より……蔑面子

■朝鮮の煙草戰（■廣江商會の參謀長■東亞社の買收政策■買收金額一百萬圓）

■朝鮮金石考……非庵生　■人類活動の計算……黒龍生　■犬の言語の研究……一記者　■獨逸魂と英國魂……反對生　■歐人の避寒……■獨帝とローヅ……一記者

醜穢極る在鮮記者爬羅抉剔録（一）……現代檢非違使
■腐敗の義戰を試み操觚界の革新を促す ■公益の假面に權道を辿る僞善者を葬る ■照魔鏡に映されたる惡德記者の表裏 ■滿天下の讀者は本篇の展開に瞠目せよ

■男を生む法女を生む法……黒龍生　■東西結婚氣風……MM生　■生た女を看板に……一記者　■金髪美人バーの探檢……S記者　■先夫に似た兒が出來るや否や……MM生　■大正五年東京の流行……在京記者　■京仁藝妓評判記……紅綠子　■金髪美人化裝法……新歸朝某婦人談　■新町怪談高龍物語……本阿彌　■巴里の秘密……うま生

■魔風日記（長風の下に淸風あれど亂れたる家庭には魔風吹く、世は擧つて虚榮に憧憬すれば時代の罪も時代の潮流を背景に取り、本篇は權門富豪の家庭に渦まく傑作にして曲折縱横興味津々、東都知名の文士が苦心して吹くか魔風は如何に……）

■六相撲一月場所■一月の東都劇壇■奈翁と支那料理■奇法珍法■冬期の衛生■白堊館の日用料理■西洋鍋燒うどん■日本料理其折り／＼

■現代文藝　長篇、短篇、一口噺、川柳、都々逸、■雪の如き心……

總販賣部　朝鮮京城旭町二丁目十番地
發行所　東京市京橋區宗十郎町十八番地　現代倶樂部

朝鮮總督府蔘精

朝鮮總督府蔘精（エキス人參）は他にて絶對に似わること出來ざる獨得の製法によるものにて他の蔘精とは全く性質を異に致し居り候に付御買求めの際は必ず朝鮮總督府の封印に御注意被下度願上候

朝鮮總督府蔘精元賣捌所　京城南大門通五丁目（電話二七七一番）　板倉支店
朝鮮總督府官鹽賣捌所　平壤竹典里　板倉本店

好評四版　忽ち知れ渡り
本書の一字一句直に應用し實行し得る千金の活文字

諸貸金と貸倒れ取立法復活策

辯護士　武知彌三郎先生著

武知辯護士新著　債務者の利益主張其と實行法

本書の内容は、諸貸金取立の秘訣、小口貸金及び地方貸金の取立妙法、活して取る法、不拂ひ諸證書及び不渡り約束手形小切手の處分法、諸譲渡轉貸と取立委任法、強制執行支拂命令其他諸中譲渡債權の書式及び手續方法、諸訴訟諸登記の方法及顧届諸式、諸貸借證及び諸賣買證書の書と諸心得、迅速を要する法律手段等を法律上と實際上より巨細に亙りて解り易く説かれたれば、あらゆる契約事項法律事件の起りたる時には本書の五十萬字は皆活きて働くものである。
本書は不德義なる債務者の内幕と法律上の利と法律の缺陷とを暴露研究して債務者の活眼たらんとするもの　定價一圓送料八錢

不景氣知らず――に事業を發展せんとする實業家貸倒れを恐るゝ債權者は來りて此活きた顧問を利用せよ。

クロース緘函入 頗美本七百卅頁　實價壹圓參拾錢 送料金十二錢

發兌　東京京橋南鍋町　榮文館　電話京橋三八〇二　振替東京四二八〇〇

第三十七回帝國議會

衆議院（二十五日）

衆議院は二十五日午後一時開會乃木問題に關する質問日程に上れるため傍聽席は滿員の盛況を呈せり諸般の報告終るや劈頭

▽島田議長 は先日前川虎造氏（國民）の質問に係る閉鎖中出入に關する件に就て答辯して曰く本問題は事實と慣例との二つに分れ居れり即ち江頭哲藏氏（政友）が出でんとするを守衞長が議長の命令なりとて之れを止めたるは事實なり而して當日は重要議案上程に付き議場の紛糾を豫期し嚴正に取締るべきを一般命令として命せり守衞長は此の一般命令を遵守したる譯にて先例を破りたるに非ず第二には閉鎖中議長の背後より出でたる先例あるも是は默許に過ぎず故に將來閉鎖中の出入に關しては議場の形勢により委しく命ずべしと答へたるに

▽前川虎造氏 は議長は先例を無視し臨機の命令を發せるは不都合なりと詰り議長前言を繰返し前川氏は尙ほ迫りたるも與黨側の妨害ありて本問題を打切り次で議長は懸案となり居れる佐々木安五郎氏が質問參考書として提出せる日本及び日本人を此の場合速記録に記載するや否やを諮るべしと宣し是れに對し

▽佐々木安五郎氏（國民）日本及び日本人の速記録記載は當時既に議長は是を受理したるものなれば再議の要無し議長は宜しく自己の手落ちを議場に陳謝したる上議題となすべしと詰り議長は議題となすや否やを採決したるに多數にて議題とすに決し次で議長は政府の要求ありとて秘密會を宣するや國民黨側より違法なりと叫びしも議長は聽せず一時四十五分秘密會に入れり

三時二十五分秘密會閉會再び本會議に入るや

▽島田議長 は秘密會の結果を報告し佐々木安五郎氏の要求に係る雜誌日本及び日本人の論文は速記録に記載すべからずと決したりと述べ次で乃木問題の質問に入り議長は本問題に對しても政府より秘密會の要求ありとて秘密會を宣し伊東知也氏の質問演說中定員を調査せしに不足を告げ居たるため其儘散會となりたり時に午後四時（東京特電）

◎現內閣自決風說

貴族院と對陣＝玉碎の覺悟か

二十四日宮中に於ける山縣樞相と大隈首相との會見を以て兵器賣却問題に結び付けんとする者あるも這は誤れる憶測にして信ずるに足らず唯だ大隈首相が其昵近者に漏したる消息に依れば伯の眞意は本期議會さへ無事に終了せば一通り豫定の任務を果したるものとし圓滿辭職を行ふ底意あるも貴族院の態度意外に強硬となりし今日にては抜き差しならざる破目に陷りたるにより此の上は閣僚と共に玉碎すべしと覺悟したりと傳へらる（東京特電）

◎雲南獨立政府宣言

共和維持の趣旨を述べ＝各國公使に四個條の宣言を電送す

雲南獨立政府は唐繼堯の名義を以て三十日北京駐劄各國公使に對し電報を送り其共和維持の趣旨を述べ時局に對し各國の仲立を求め左の四箇條を宣言せり（北京特電）

一、前清時代及び帝政運動起らざりし以前の條約並に協約借款、賠償等は有效なる事を承認す

二、獨立政府の下にある外人の生命財產は充分の注意を以て是れを保障保護す

三、帝政運動後袁政府と各國との間に締結せる條約、協約等は獨立政府に於て承認せず

四、袁政府に對し戰時禁制品を輸送する者ある時は發見次第沒收し尙ほ袁を扶くる官吏及び商人には反對す

◎雲南軍優勢と北進

重慶來電に依れば雲南獨立軍は敍州占領後破竹の勢を以て北方に進軍中なり成都駐在の北軍は南軍が成都に向ふを喰止めんため二十三日兵一千を同方面へ急派せりと（北京特電）

◎太公殿下奈良御觀覽

群れ來る鹿に興がらせ給ふ

李太公殿下には二十五日奈良に進かれたるが御一行は大佛御觀覽後三笠山下より春日神社に御參拜神樂を御見物相成り夫れより博物館、物產陳列所等を御巡覽あらせられ春日神社にては數百となく群れ來る鹿に興がられ給ひ又奈良人形等御買上げあり夕刻法隆寺に進かれ京都に御歸還あらせられたり（大阪特電）

◎敍州占領事實乎

二十四日午後日本公使館に於いて接受せし重慶領事よりの公報に依れば敍州が獨立軍に占領せられたるは事實なるが如し（北京特電）

◎爆彈投下

桑港來電に依れば四五臺の佛軍飛行機は塞國モナスチールに於ける墺勃軍司令部を襲ひ爆彈を投下し多大の損害を與へたりと（東京特電）

◎帝政實施進行

北京來電に據れば帝政延期を聲明せる袁總統は猶依然として帝政實施の進行を圖り居れる模様なりと（東京特電）

◎政府憂慮加はる

軍器賣却問題に關する上院對政府の確執容易に解決を見ず現內閣系の三島子平田子等亦政府の爲めに居中斡旋の勞を執らず寧ろ成行を傍觀するの傾あるを以て政府側の憂慮益々加はりつゝあり（東京電報）

◎滿銀資本と補給

設立進行中の滿洲銀行は資本金を一千萬圓とし本店を奉天に置く事に決せり政府は同行に對し年六朱の補給金を交附する事に內定せりと（東京電報）

◎臺銀頭取任免

柳生臺灣銀行頭取辭職の結果前專賣局長官たりし櫻井鐵太郎氏に對し廿四日左の如く辭令ありたり（東京特電）

正四位勳二等　櫻井鐵太郎
株式會社臺灣銀行頭取被仰付

依願免臺灣銀行頭取　柳生一義

雜報

◎昨年中の會社計畫資本

增額九十九萬圓　減額四十四萬圓

大正四年中に於ける鮮內銀行會社の計畫資本は新設四十八萬七千八百圓、擴張五十萬六千二百圓、合計九十九萬四千圓を算せしも、一方に於て既設會社の減資十七萬五千圓、解散二十六萬五千圓を數へたるを以て、結局同年中に於ける計畫資本の增加は五十五萬四千圓なりとす、今其詳細を見るに新設資金は、農業十二萬五千圓、林業二萬圓、水產業二十四萬三千五百圓、商業十一萬圓、工業二萬四千五百圓、運輸二萬八千五百五十圓、倉庫三萬五千圓にして總計十六社の新設を見、擴張資本は農業十萬圓、工業五千圓、瓦斯電氣八萬一千五百圓、商業十一萬八千圓、運輸十八萬七千七百圓、倉庫一萬四千圓を算せると共に、一方に於ては商業十七萬五千圓の減資と工業八萬圓、商業十八萬五千圓の解散を見たり

斯くて同年中に於ける銀行會社の現在數並に拂込資本金額を其組織別に依りて示せば株式會社百二十五社三千五百三十六萬四千三百四十圓、合資會社六十八社二百六十四萬八千五百十圓、合名會社二十三社八十一萬八千六百五十圓にして合計二百十六社此拂込資本總額三千八百八十三萬一千五百圓を算せり、更に之を事業別に示せば左の如し

種類	社數	拂込資本金
農業	二〇	二、〇五八、九〇〇圓
林業	三	一四〇、〇〇〇圓
水產業	二	一六、〇〇〇圓
鑛業	二	二、一七九、〇〇〇圓
拓殖	一	一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
工業	三九	一、六九九、三二六圓
瓦斯電氣	一一	七九五、〇〇〇圓
商業	八七	四、八四二、二四〇圓
中央銀行	一	一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
普通銀行	一一	三、二四〇、〇〇〇圓
農工銀行	六	一、四六九、八九〇圓
金融信託	五	一三一、〇〇〇圓
運輸	二四	二、〇九五、二五〇圓
倉庫	三	一六九、〇〇〇圓
計	二二六	三八、八三一、五〇〇圓

因に此の調査は朝鮮に本店を有する諸會社銀行にして其他は總て之を含まざるものとす

◎昨臘の經濟界

貿易金融順調なり

內地米は引き續き好氣配を呈し、朝鮮米に對する內地商人の思惑買多かりし爲め十二月に入りて鮮米の取引は益々增加を來し一方滿洲大豆不作の結果は時價の上騰を招きて大豆も亦尠からざる出廻りを見たるより十二月中の輸移出總價額は八百三十三萬圓に達し、又雜貨、綿糸布の關係は季節柄新規の仕入れ尠からざりし爲め輸移入品價六百二十一萬圓に上れり、而して大正四年中の總貿易額は一億二千百二十六萬圓にして百二十四萬圓の純出超額を示せるが如きは朝鮮貿易空前の盛況といふ可く、這は主として自作自給の慫慂の反響と作業獎勵に基く生產額の增加に據りて加へて穀價高騰の結果と認めらる、斯くて十一月來輸移出貿易の活躍は地租分納の實施と相俟ちて地方の金融を緩和し、各種金融機關の民間預金は前年に比して三百三十二萬圓を增加し、貸出は歲末決濟資金の需用尠からざりしも輸移出貿金の回收順調に行はれたる爲め僅に四十萬圓の增加に止まり、又歲末に於ける銀行券の流通高は三千四十六萬圓を算し、前年に比すれば實に千三百十六萬圓の激增を示せり是れ朝鮮の財力發展を證するものなること勿論なるも通貨の膨脹は物價の騰貴を促し輸移入を增進せしむること經濟上の原則なるが故に此點不生產的資金を消費するが如きは大に戒心の要あるべし

◎長崎大連航路 繼續

既報の如く從來大阪商船會社の朝鮮經由長崎大連線は補助金年額一萬七千圓を支出し居りたる長崎縣が愈々新年度の豫算に於て補助金を削減し一萬五千圓となしたるを以て商船にては之が廢航の意向を表明する所ありたるが若し實際廢航と決定する以上は長崎市の被むるべき影響尠なからざるを以て同市は特に二千圓の補助金を支出する事を決議し其旨商船會社に通知したるが會社にては兎も角今後右航路を繼續する事となり尙此航路は貨客甚だ尠なく航運振はざるを以て一萬七千圓の補助にては到底不引合を免れずと云ふ

◎沃川叺好成績

近年我朝鮮產業界の發達に伴ひ逐年輸移出貿易は顯著なる長足の進步を示しつゝありと雖も尙年々多大の輸移入超過の逆勢を脫する能はざるは眞に遺憾に堪へざる次第にして苟も此趨勢を防止挽回せんとせば今後朝鮮全道民に對し大に

▲自給自作の途を 指導獎勵するより急務なるはあらざるべし而も一箇年一百萬圓てふ巨額の移入を母國に仰ぎつゝある繩叺の如き其の材料の豐富なる點に於て其勞銀の低廉なる點に於て實に我朝鮮に於ける最も適當なる自給自作品たるを失はず去れば本沃川郡の如きは夙に此點に著眼し既に數年來叺の製造を獎勵し農家の副業として郡內一般に普及獎勵せし結果生產額も年々著しき增加を示し昨年度の如きは郡外移出數約卅萬枚價格二萬五千圓を超え實に本郡に於ては米、大豆に次ぐの重要物產たるに至れり從つて沃川叺の名は

▲漸次各地に周知せらるゝに至りしと雖も從來檢查の方法區々にして統一せる機關を有せざりし爲め粗製濫造の弊に陷り漸く一般の信用を失墜せんとするに至りしかば斯くては本郡の爲め誠に憂慮に耐へざる次第なりとて茲に叺改良の急務を痛切に感ずるに至り本郡の與論書記鹿屋技手金融組合の柴田理事其他重なる叺關係者主唱の下に郡內の叺製造業者、穀物業者叺販賣業者の全部を網羅して沃川叺選改良組合を組織し郡監督の下に充分正確なる檢查を勵行し益々沃川叺の信用と聲價を高めんことに熱心努力したる結果今や各製造者に於ても

▲大に改良の有利なるを自覺し從來の如き粗製品は全く其跡を絕つに至り組合の設立日尙ほ淺きにも拘らず其成績の顯著なる實に豫期以上の効果を擧げ今日にては檢查合格叺の印の如きは其質良品として殆んど內地叺以上の良品として認められ然も價格は內地叺に比し遙かに低廉に供給し得らるゝが故に漸次各地に歡迎せられ其販路も京釜湖南の各驛は素より近來京義線方面迄開拓せらるゝに至り前途益々有望なる物產として認識せらるゝに至れり（沃川）

◎漢城銀行總會

漢城銀行は二十四日第二十一期株主定期總會を同行樓上に於て開催例に依て事業報告あり次で利益配當案を決議し本期も前期同樣年七步の配當をなすことゝなれり而して同行は專ら業務の堅實と擴張に努め先般南大門內に派出所を增設して顧客の便益を圖りたる等にて營業成績は前期に比し預金平均額一割八步貸金平均額一割一步の增進を示せりと云ふ尙ほ南大門派出所は今回出張所に改むる事に決定し監查役鄭永斗氏は任期滿了に付き金用集氏當選したり

◎練習艦乘組員

二十六日大連より仁川港に來航す可き練習艦隊磐手及び吾妻兩艦の乘組員左の如し

▲艦隊司令部
司令官　少將　松村龍雄
參謀　中佐　左近司政三
同　大尉　佐藤三郎
副官　同　野口厚
司令部附　同　高橋雅雄

▲軍艦磐手
艦長　大佐　百武三郎
副長　中佐　永野修身
航海長　少佐　增田乙三郎
砲術長　同　松崎直
水雷長兼分隊長　同　桃井篤次郎
分隊長　大尉　梅田文範
同　同　久原稅松
同　同　下村正助
同　同　今泉周三
同　同　松野省三
乘組　同　岩村清一
同　中尉　加藤仁太郎
同　同　宮崎平
同　同　栗山健男
同　同　坂信一
同　同　平岡乘一
同　少尉　山田敬一
同　同　中島省三郎
同　同　納富貞市
同　同　留岡勵
分隊長　機關中佐　潮崎進
機關長　機關大尉　曾根謙三
同　同　能谷鉢造
同　同　片山清次
乘組　機關中尉　立花才次郎
同　同　小出捷
乘組　機關少尉　水野英一
軍醫長　軍醫少監　福田秀穗
乘組　大軍醫　大西滿治
主計長心得　中軍醫　上田春治郎
乘組　大主計　深田貫一
同　中主計　內山正廣
同　少主計　花岡俊大
　　　　嶋本博馬
少尉候補生四十七名

▲軍艦吾妻
艦長　大佐　飯田久恆
副長　中佐　新脇榮登
航海長　少佐　片山二三
砲術長　同　折田一二
水雷長兼分隊長　同　大谷幸太郎
同　大尉　松本忠左
同　同　生島賢二
同　同　大西次郎
同　同　矢持治
分隊長　同　小熊文雄
乘組　中尉　木幡行
同　大尉　山中孝次郎
同　同　園二郎
同　同　福山眞三
同　同　堀本武夫
同　同　大島乾四郎
同　同　三輪茂
同　少尉　小西千比吉
同　同　保科善四郎
同　同　伊藤三郎
機關長　同　市來利之助
同　機關中佐　勝木政次
同　機關大尉　大田宇一
同　同　吉田信一
乘組　同　廣瀨晉一
同　機關中尉　稻石正雄
同　同　津出勝次
軍醫長　機關少尉　島崎太郎
乘組　軍醫少監　關下三郎
主計長心得　大軍醫　直下總三郎
乘組　中軍醫　早川正成
同　大主計　中村乾二
　　中主計　齋藤常吉
　　少主計　乾興隆
少尉候補生四十八名

◎咸南明太の不漁

本年度に於ける明太漁況は例年に比し時期遲れたるものゝ如く咸鏡南道退潮浦沖合に於ては通常十二月上旬を以て盛漁期と爲せるも本年に於ては本月一日以來一隻に付最多二千尾最少二十尾平均二百尾內外にして八日に入港せる漁船稍漁獲せるを見るのみ而して大正元年以來漁獲漸減の結果出漁船數頗る少く昨年に比し約六十パーセントの出漁船にして時期後れたる事は從て不漁を意味し多くは失敗に歸せざるやと豫想せらる

◎仁川の牛皮移出

仁川港昨年十二月中の牛皮移出額は三千三百八十四圓にして前年同月の一萬三千餘圓に比し一萬餘圓前月の五萬四千餘圓に比し五萬一千餘圓の何れも激減を來せるが之れ廻著品の時節柄乾燥不充分なりしと相俟つて移出不振を極めしものなるが相場は前月の高値より五六圓方の低落を來し即ち大皮一枚（十五斤位）五十七圓五十錢小皮一枚（十斤以下）五十二圓見當なり

◎高李王職事務官　高永喜子嗣子王世子附事務官高羲敬氏は嚴父危篤の報に接し急遽歸京せり

◎內地人に化けて

京城若草町成順五（二五）は窃盜前科二犯の曲者なるが大正四年十二月六日[illegible]京城地方法院に於て懲役[illegible]年の判決となりたるを不服として京城覆審法院に控訴したるものなるが同人は日[illegible]

[illegible]番地北島出張所事務員張錫瑛（一七）仁川新町居住訴訟代理業北島が京畿道始興郡西面の商泳權なる者より九十五圓を受取り悉く橫領消費し尙ほ商泳權を欺きて土地代金の一部なりと稱し九十五圓の[illegible]

[illegible]郡始興面[illegible]路里の商召史（三三）及び長女朴十蘭（一）の母子は二十四日自宅より[illegible]居住の娘の實兄へ面會に來[illegible]

◎靴を盜む五十足

京城[illegible]町李福萬（十[illegible]）は昨年末より本月十[illegible]靴を作りし內鮮[illegible]全部を引揚げ陳列したるに恰かも古靴屋の如く軍人靴婦人靴迄ありたり

◎小事故二件

高陽郡恩平面[illegible]で馬山俵町居住の奉聖烈の衣類六點を窃取し鍾路署に引致さる▲京城[illegible]（三八）は一月十日京城裏泥峴金某方に[illegible]

[illegible]異同好會にては二十三日午後一時より元町學務事宅に於て第二例會を開く出品者多數のうち當選受賞者左の[illegible]

當選謝禮廣告

今回仁川商業會議所評議員選擧に際し當選の榮を荷ひ候は偏に各位の深甚なる御同情の賜と感謝仕候先は不取敢以紙上御厚禮申述候　敬具

大阪商船株式會社仁川支店

仁川有權者各位

當選御禮廣告

非才今回仁川商業會議所評議員選擧に際し當選の榮を得たるは是偏に諸彥の深甚なる御同情の賜と奉感謝候先は不取敢以紙上御厚禮申述度如斯御座候　敬具

淺松太郎

仁川有權者各位

高尙優美なる新裝御大典記念發賣

登錄商標

トツヨシ

製造發賣元　群山府全州通三丁目　石見屋商會　電話二一二番　振替京城五五三番

各地有名菓子店食料雜貨店鐵道各驛賣店及列車內等にて販賣致候

開業廣告

元仁川病院長

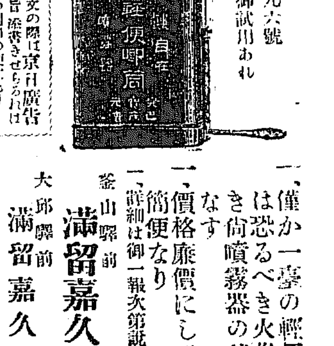
龍山元町二丁目六十五番地（龍山ホテル前）

內科專門　醫學士　齋勇

京城、仁川、水原　往診ノ需ニ應ズ

電話二五八番

專賣特許　二五六九六號　至急御試用あれ



御注文の際は京日廣告見し旨添書きせらるれば特別の割引の便宜あり

一、僅か一臺の輕便唧筒は恐るべき火災を防ぎ尙噴霧器の代用をなす
一、價格廉價にして使用簡便なり
一、詳細は御一報次第說明書送呈

釜山驛前　滿留嘉久商店
大邱驛前　滿留嘉久支店

イケダ小兒病內科醫院　池田季雄

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一二三四番 自宅八八〇番）

資本金壹百萬圓　創業滿三年　契約高貳千萬圓

八千代生命保險株式會社の特色

當社は全國唯一の確實なる非營利的組織にして最も進步したる相互株式の兩長所を具備し保險料亦他に比して頗る低廉なり然して其收入保險料の全部は是を永久內地各府縣農工銀行朝鮮各道農工銀行に預入し地方產業資金となすにあり

八千代生命保險株式會社　京城旭町三丁目五番地電話一一三二番

京城支社　京城明治町二丁目四六　電話二六一番

京城代理店　唐川立造

門さして前後數回品等約數十點此價格約四百圓の泥棒をなしたるを本町署の手に檢擧され沙となりたり

●よくやる手　京城蓮池洞四……四千圓にて賣却する旨の契約を取濟まし附金として壽時山より金九十……訴したるに棄却となりたり

●無一文の母子　京畿道始興……へたり

……賣却し……宜が探知し引致して調べたる上贓品……

六日京城西大門町清水某方の以下……枚を窃取し鍾路署警官に取押へらる

▲京畿道……州郡……面生れの宋克來……路署に引致さる

●大邱寫眞同好會　大邱寫……次回は二月二十七日開會課題は一寫本立『動物』及び冬季に因める雜題にて……

●おゝ、大好きな朝鮮の色

スタール博士の昌德宮見物　何を見ても頗る感興に打たれて居た

大華館の珍客スタール博士は廿五日の午後通譯の前橋君を連れて飄然昌德宮へと志す、途中趙志淵氏から敎へられた徵文義塾の天文臺石を見たいとて敦化門から左手の義塾內に訪れたが石は目下昌德宮博物館に運ばれて殘るは只だ昔しの天文臺の蹟のみであるが博士は喜多八の前橋君を顧みて此處は

三年前にお前と寫眞に撮つた處ぢや

と云ふ、其處で近回は昌德宮內の秘苑拜觀に赴けば案內者は先づ仁政殿の齋玉座まで案內する、博士は表玄關から這入つて丹碧の色美しき仁政殿廻廊を步き乍ら此の建物は却々よい、そして向ふの磚石の庭も階段も甚だよろしいと嘆賞しつゝあつたが導かるゝ儘に食堂を見た時は可も無し不可もなしの面色でスタ／＼と行つて了ひ次ぎに休憩室の裝飾を見ては茲に始めて

『朝鮮らしいよい室ぢや』との言葉

博士が玉座の前に立つた時は其處に三人の外人拜觀者も居たが博士は天井を打ち仰ぎながら『却々綺麗ぢや』と許り庭に出る、案內者は又た博士の希望により秘苑の冬景色を觀せて呉れたが博士は相變らず『よろしい／＼』を連發する、そして宮殿及び樓閣の篠芽に彩色された丹碧の色を何う考へられると訊けば『自分は

あの濃厚な色が非常に好きである

思ふに朝鮮の人が怎麽建物に斯る色彩を用ゐるのは彼等の風俗慣習に適合した趣味による事であらうが自分は非常に周圍との配合が淡いと思ふ自分は奉天に於て米國領事館が矢張り怎麽彩色で塗られたのを見たが此の綠色の老松の樹間に怎麽建物と怎麽色彩を見るのは非常に嬉しい』と非常な滿足である、次いで博士は宙合樓から魚水門の邊りが如何にも美しいとて

周圍の冬景色に見惚れつゝあつたが

ふと樓の背後なる奇峰の形態を彫刻した『古石』を見て『これは面白い／＼』と眼を細くする、次いで秘苑の奥庭なる各所の亭を見た博士は何處でも御機嫌斜ならず『斯樣に小さな建物が飛び／＼に松林の間に除見するのは如何にも趣きある事おや』と許り

興に打たれて居た

其の內とある池塘に何か黑い物影が見えるので喜多八さんが『鳥だ々々！』と叫ぶと博士は『否々！』あれは栗鼠である、鳥は其處に居る』と濟ましたものでカチ鳥を指す、續いて喜多八さんが『栗鼠とは珍しい』と感心すれば『否、些とも珍らしくない』と空嘯く、轉て植物本館では御茶の御馳走があり動物苑の門から電車で歸る、途中喜多八さんが電車に遲れて駛け出せば、博士は車上で笑ひ乍ら『ハツハツ若い者の駛るのは愉快なものぢや』

●京都市より甲冑と太刀獻上

太公の御滿悅

二十三日入洛の李國大公殿下を京都驛に奉迎したる井上市長は直に御旅館なる圓山長樂館に參向し木村式部官を介し市獻納品なる甲冑一領大刀一振を捧呈し

「私は此度殿下の御入洛下さいましたに付て市民を代表して衷心御歡迎を申し上げます此度の殿下の御入洛を祝し且つ記念せんが爲に二百三十年前の製作に係る甲冑一領太刀一振を獻上致しますこれは大將身分の者が佩用した武器であります、どうか御納受下さいまして御本國に御持歸り下さるなれば市民一同何よりの光榮に存じます」と申上げたるに對し殿下には最と御滿足の趣きにて『此の京都といふ所は吾國のモスクワによく似て居つて非常に懷しく思ふ今日は熱誠なる市民の歡迎を受け今又井上市長は市民を代表して珍らしき寶物を贈られて嬉しく思ふ、此の品は本國に持歸つて吾家の寶として永く愛顧し子孫に傳へる事にする市長は此の市民に此の旨を傳へ呉るゝ樣』云々との御言葉を賜り市長は面目を施し退邸せり(大阪)

●明けても暮れても 爆彈戰

西歐戰線の近信

最近大阪在住の某英人の許に著した佛國出征中の令息中尉よりの書面に曰く自分は最近二週間前線の塹壕に在りて幾多の辛酸を嘗め盡せしが漸く六日間の賜暇を得て後方の塹壕に引揚げ

▲久振りにて寢臺に安眠したり勿論農家の粗末なる寢臺なれども、パラダイスに遊ぶが如き心地好き感を催したり敵味方共に昨今塹壕に立籠り壕內より坑道を穿ちて互に爆破することを慣用手段となし居れり自分等の穿ちたる坑道は二箇所とも敵壕を離るゝこと

▲十五呎の近距離に達し敵に大損害を與へたり但し敵の塹壕破壞用臼砲には自分も殆んど一命を失はんとしたり該臼砲彈には四十斤の最高等爆藥を裝塡し其胸壁に中りて破裂する凄じさ譬ふるに物なし然れども敵の放つ砲彈と露軍のそれとは只今

▲一と二十の割合なり是れ敵彈の減じたるに非ずして我が砲彈の準備充實したる結果と知るべし英軍は逐日順境に向ひ敵は順次衰微の徵候確實に見えつゝあれば此の戰爭も最早餘り長からざるべし去れば今頃平和論など持出す者は實に大々愚物なり本當の

▲戰爭は是れからなりボムバーとて爆彈の擲合ひも大流行なり自分も幾回か試みしが見事敵壕に落ちて手答へありたる時は壯快なり然るに我壕內は過日來の霖にて水は脛に達しそれが又氷の如く冷たし要塞氣のある者などは到底一日も我慢なり難し其の上壕內の各所に

▲半ば埋れる屍體　幾箇となく橫り古きものは腐敗して臭氣堪へ難く自分等は防臭の爲に日夜煙草を燻べ通したり過日上官より自分の經驗を報告せよとの命令あり或は大尉に昇任さるゝ事かと密かに欣び居たる次第なるが僅か九日間の賜暇歸國を許可せらるゝ筈なりと云々(大阪特信)

●土民暴動事件眞相

排日的暴動風說は虛報

二十三日夜本溪湖の北方牛心臺炭坑の日支合辨三合公司に七十餘名の土民襲來し邦人十餘名に重輕傷を負はせたる事件は三合公司と支那官憲と協議の上坑區境界を設定するため杭を樹てたるが從來附近村民は手掘り採礦を爲し居たるところを境界設立と共に其の採礦を禁止したる爲め彼等の反感を買ひ此の椿事を惹起せしものにて支那官憲も當時暴徒の鎭撫に努め尙は境界問題の圓滿解決に努め居れり而して右事件は排日的暴動なりなど〻の風說あるも全然虛報なり(大連特電)

●墺兵逃走

吉林監獄より

昨年露領チタに潜伏中の墺國軍人五名は北滿に逃走せるを露國官憲の依賴にて搜索したるに五名共吉林省に潜入し居る處を支那官憲に發見され吉林監獄に收容中の處去る十八日騎兵ミリヤス(三七)は監視者の目を偸みて逃走したれば支那官憲は大騷ぎをなし日本領事館へ取押へ方を申出でたるが萬一南下せざるやも知れざれば當地警察にても注意中なり(大連特電)

●西海橫綱

司家へ手續す

大相撲協會にては二十四日番附編製會議を開き西の海の橫綱は衆議一決し協會より九州なる吉田司家に向け橫綱許可申請手續をなせり又綾川の大關其他は議論百出し却々決せず(東京特電)

●範圍擴大

西美鐵道事件

西美鐵道不正事件は勃發以來岡山地方裁判所津山支部水野豫審判事は秋山檢事と共に只管事件の進行を圖り居りしが事件の進行に連れ之が犯罪連累者は意外の方面に飛火し堀田子爵拘引後は岡山地方裁判所奧村檢事正の出動となり既に同檢事正は三日間津山町大字京町對鶴樓に投宿し關係者の取調を爲す處ありたり尙ほ水野豫審判事は日々津山分監に拘禁中なる久保田、三宅、福田の三氏を呼出し嚴重なる取調を續行し居れるが犯罪は其から其へと關係ありて單に西美鐵道不正事件のみにあらざるもの〻如し(津山特電)

●溫情玉の如し

高永喜子逸話

子爵高永喜氏も病重く遂に危篤に陷られた、六十八と云ふから惜む年ではないかも知れないが出來るならもう暫く生きて居つて貰ひたい。けれども高子爵は一週間程前から既に死を決して居られる樣だ、今度急遽歸省した高義敬さんの妻女に對し子爵は東京に還れと云つて聞かれない普通のものならば死期の近くと共に一家眷族を呼び集めるのに子爵は還れと云はれるこれは子爵に

▽深い考があつての ことで病氣をするのも死ぬるのもこれは自分一個の知つて居ればよいことで人に迷惑を掛くるべきことでない殊に嫁には子供もあれば家庭のことに就て色々と用事もあるのを、死期の近いて居るものが何時までも引張つて置くのは本意でない、早く東京に還つて子供の世話でもして貰はねばならぬと云ふのであつた。實に立派な人ではありませんか。自分が高子爵を知つたのは日清戰爭の時であつた、兩國政治上には或は反對の地位に立つたこともあるが交友の上に於ては其死に至るまで渝らず呉る所がない、高子爵は兩班の出でない中人だなど〻云つて門閥の高下を論ずるものも居るが其

▽先祖は立派な貴族で其名は一寸忘れたが硬骨な節を貫いて世に知られた人であつたが爲め遂に世俗の容るゝ所とならず其後零落して所謂中人の仲間入りをされたので普通の中人とは譯が異ふ。子爵は人となり溫厚にして謹直、己の心を嚴かざるを以て一生の要諦として居られたので四十有餘年の間に世の批判を受くるが如きことは唯の一度も無かつた大義名分の在る處は

▽死を決して斷行すると云ふ氣槪で、曾て李完用伯が外務大臣で子爵が次官であつた時に獨逸の問題で露西亞との間に交涉があつた、起り廟議一決するまでに進んだが李完用伯と子爵とは死すとも贊同せずと主張して遂に廟議を翻したこともあるが自分は子爵を貞男と云ひたい自分の夫人の外他の婦人に目を掛ける樣なことが無つたばかりでなく

▽些の艶聞だに無つたと云ふことは我朝鮮の貴族として家庭は全く第一人と云はねばならぬ、家も奢侈を戒め常に質素を旨として居られたが祖先の祭などには思切つた充分の供養をされると云ふ風で常に讀書と園藝とを好まれ外に是れと云ふ道樂はなかつた、全く我々の模範的人物であつたが惜しいことに逝つた。(子爵閔丙奭氏談)

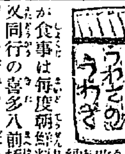
●殺人犯人朝鮮に逃れ來る

釜山にて就縛

去る二十日夜釜山警察署忠案橋派出所の甲斐巡査が擧動不審と認め誰何し引致したる島根縣人松原友一なる者に就いて嚴重取調べ中容易ならぬ重罪を犯したる事を自白に及びたり同人は大正二年中福岡縣田川郡豐國炭坑に事務員として奉職せし事ありしが性來賭博好きのため同炭坑を解雇され同地方の採朝炭坑といふへ轉じたる者なるが賭博に耽り金錢に窮したる結果惡心を起し大正二年十二月二十五日豫て自身出入して勝手知りたる豐國炭坑役員倉垣清一郎方に闖入し三尺一寸の鋭利なる日本刀を以て同人を慘殺し妻貞子に重傷を負はせて逃走し發覺を虞れて昨年七月渡鮮し全羅南北道地方に潜伏し居り本月二十日釜山に入込みたる所を前記の如く甲斐巡査に取押へられたるものなり(釜山特電)

●ボヤ　二十四日午後十時十五分頃京城貫鐵洞三番地朴鍾漢方溫突の煙突より出火したるも即時消止む

●中券藝妓新年會　中券番にては二十六日午前十一時半より大正館に於て藝妓の新年宴會を催し昨年中の成績佳良なりし藝妓に賞品を授與し終つて例の演藝館問題の決議を茲に表はして活動の寫眞見と洒落れその他の餘興ある筈にて館主より一同に對し記念品を贈る由



▲例の人氣男のスタール博士は二十四日朝歸京以來鍾路大華館の溫突に納まり返つて居るが食事は毎度朝鮮料理を召し上る▲又同行の喜多八前橋君の談しでは博士は支那料理が大好物で過日奉天で喫べた料理の如きも佛蘭西料理と共に世界に於ける最珍味のものだと激賞して居る▲又博士の天文氣象に對する造詣はなか／＼に深く旅行中で三溫四寒や天氣の晴雨は必ず云ひ當てる▲又開城では鮮人の青年で双子の男を見付け出し兩人共妻帶して居るのに非常な興味を有つたやうであつた▲同地では又或る所で古い朝鮮の衛器を買つて非常に悅んで居たが又各地共朝鮮の漢學塾の幾少なことには尠からぬ興味を有つて居る▲それから如何なる寒中でも曾て外套を著けたことが無いのは博士のお自慢の一つである步行も却々壯者に劣けない▲又博士は何時も粗末な黑の容服を著て步くがあれで各國の勳章を澤山有つて居ることは驚くの外なく殊に白耳義皇帝から贈られたものゝ如きは非常に高貴なものであるといふことだ

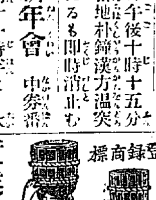
京城奇人傳

●□□奥の手は『小賣商人苦痛』の一卷　書物の中に埋まつてるホーデン君

明治町通りの中央に米やメリケン粉や漬物類の食料品一切を賣る間口の狹い店がある、表に掲げられた看板に牧野豐田とあるのは主人の名前だが若し迂かりとホーデンさんとでも謂はうものなら主人から飛んだお眼玉を戴く、主人の眞當の名前は牧野トヨタさんと讀むのだ相な、豐田さんの店は間口こそ狹けれ奥の倉庫は却々廣く先づ京城の食料品店としては指折りの方だといふ事だが、主人は頃日內地に經營中の果樹園監督に歸鄕中で店頭には十數人の店員が駛け廻る間を紋付羽織の令息が指揮して居るのも毛色異ひの感じがする。主人は古い法律學校の卒業生で何時も大審院の判決例が何うとか商法第何百條が怎うとか云ふ穴ッ下手な辯護士裸足の評判男、それでは四角な理窟一天張りかと云へば何うして／＼聞い事でも三角な事でも總て學問的な事なら何んにでも研究心を有つ、試みに店の二階に上らうものなら漢籍でも洋書でも手當り次第何んでも讀むのが道樂の一つだ相な、怎麽學者肌の男だけに其の商賣振りも却々手堅く先づ一軒のお顧客を捕へるにも其の身元財產まで調べてかゝることは頗る恐縮の外はない。若し夫れ掛代金の支拂ひでも怠つたが最期、主人は早速と其の家に出馬し忝しく鞠躬如として『小賣商人の苦痛』と題する一小册子を呈上するが是れには誰れでも閉口頓首の次第ぢや相な。

登録商標

本椿香油の大名譽



實業博覽會に於て數多き髮油の內獨り我本椿香油のみ金牌の榮譽を荷へり

如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

故に嚴きに宮妃殿下及宮內省御內儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

●注意　頭上柄なきは僞物なり

定價　廿錢、卅錢、六十錢、一圓

本舖　大阪　三宅堂

●平山氏葬儀　平山牧兎主實弟辨主氏は豫て病氣の處二十四日遂に他界し二十五日午後三時明治町佛蘭西敎會に盛大なる葬儀を執行せり

●廣江煙草抽籤會　京城廣江商會名譽金牌受領記念大景品附大賣出し抽籤會は二十五日既定の通り京城商業會議所樓上に於て警官、新聞記者、各販賣組合員立會の上執行し一般立會者數百名の多數に達し頗る盛況を呈したるが其特等及び一等當籤者は左の通り

特等金時計當籤番號は大田、に二一四一號元山、い四五五七號一等貨劵額面拾五圓一枚宛京城、い二九五七か、二八八四、た五四八九、ろ二〇六八平壤、ろ三九九七、に二〇八、へ一四九二、と五七三、わ五一四三、釜山ち四九七四、わ三四三〇、り三五四三、に二六四九元山、い九九三三、に四八五一、大田、に九九九六、は四〇五四號、以下なり

京日案內

●普通　一回前金三十錢(無割引)那行一回毎に金五錢增

●外交員採用　月給拾五圓以上希望者履歷書携帶本人來談○京城花園町一二二▲帝國圖書普及會支部　249

●金融　信用貸は官吏敎員限り普通は擔保品を要す　新龍山漢江通一一　伊藤　293

▲貸金　官吏に對しては特に安步に秘密に御用立致します　京城黃金町三ノ三四四電話一壹八一　土岐　292

●寫眞技師及市內地方外交員募集　要保證人希望者は履歷書携帶あれ　京城大和町一ノ四八朝鮮寫眞通信社　283

●古本買入　高價　御報參上　京城本町一丁目(明治町筋)　電話二六三六番へ　野村書店　252

●番外　一回前金六十錢(無割引)那行一回毎に金五錢增

京城日報　初號より四十三年末迄取揃へ相當代價に讓受たし(住所姓名任社)

●婦女家庭內職　簡易上品　輸出品編物です初心者にても相當の收入あり希望者へは材料無料貸與す○堅志洞九八電九四五▲編物傳習所　295

●高級社員參名募集　外勤　某保險會社招聘○資格廿五歲以上の者京闕的紳士○履歷書携帶面會午前中○京城明治町三丁目不二屋內△松本　290

●簿記係一名入用　希望者は履歷書携帶來談あれ但し保證人二名を要す　287

●仁川　力武精米所

皮膚病花柳病　專門　須古醫院　京城永樂町一商品陳列館坂の上　電話二一〇三番　243

●はねつき(うちみくじき)等一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　241

菓子食料品雜貨　龍山漢江通十三番地　商　山田商店　電話五二七番　255

小兒科內科　大和町一丁目(日の出橋下る)　爲春堂醫院(電話九二八番)　院主　古城俊吉　267

●裁縫　生徒募集○和服其他最新式裁縫刺繡敎授○規則書無料送呈す　黃金町二丁目　シンガー　裁縫刺繡院　269

物品購買公告

一、編袋　壹千八百個

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上

右購買入札希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書、契約書案、見本等熟覽ノ上一月二十七日午後二時限リ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正五年一月二十四日　京城府

面白い程賣れる防寒用　巻ゲートル!!　見本帖進呈　郵券四錢要　大阪唐物町二　酒井商店(振替大阪一九五五)

殘品整理に付大見切品頒布員募集　希望者は至急照會あれ說明書送呈す　東京小石川白山御殿町　御大典奉壽會

第九期決算公告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸借入金	四壹、〇五七、貳〇〇
諸積立金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	壹七六、〇〇〇
當期利益金	壹八、九七五、四五五
合計	六壹〇、貳〇八、六六〇

資產之部

科目	金額
未收入資本金	參七五、〇〇〇、〇〇〇
諸貸付金	貳壹七、壹七壹、壹五五
地所建物什器	九、壹〇〇、〇〇〇
任置金	五、九四八、六壹〇
假拂金	四九八、六六〇
金銀	貳、四九〇、貳參五
合計	六壹〇、貳〇八、六六〇

利益金勘定

科目	金額
當期純益金	壹〇、貳七五、壹六五
前期繰越金	八、七〇〇、貳九〇
合計	壹八、九七五、四五五
內	
諸積立金	參、〇〇〇、〇〇〇
配當金(年壹割)	六、貳五〇、〇〇〇
役員賞與金	九〇〇、〇〇〇
後期繰越金	八、八貳五、四五五

大正四年十二月三十一日

京城府鍾路二丁目十三番地

廣業株式會社

社長　尹致昭

專務取締役　閔大植

前記各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス

監査役　柳樣秀

長澤龜之助主幹　月刊雜誌　初等數學

本誌は小學五六年生、高等小學生及中學一二年生の爲に數學を平易に面白く說きたる雜誌なれば世の父兄は必ず家庭に備へられん事を願む。一ヶ年前金六十錢、二月一日より取揃へ

THE X・Y　えっくすわい　數學の雜誌

毎月一回一日發行一冊定價十錢郵稅二錢　一ヶ年増刊共前金一圓三十五錢

數理、算術、代數、幾何、三角の解き方、試驗問題、解式、雜錄、讀者倶樂部、課題、上數學を研究せんとする人、中學四五年以上の學校に受驗せんとする人々には良師友なる唯一の數學雜誌なり。

X・Y增刊　名數號　一月一日發行正價二十錢郵稅一錢
一月より始まり和漢西洋を通じ廣く各般の名數を集めたるもの、學生諸君は勿論一般人士常識の參考書なり

十二卷の九號　X・Y增刊　大正四年試驗問題解答號　正價三十錢郵稅一錢
諸官立學校入學試驗問題の數學全部を蒐集し之に明晰なる解答を附せるもの官公立學校に入學志望者必讀の書

十一卷一號　X・Y增刊　數學遊戲號　正價金二十錢郵稅一錢
數學上種々の興味ある遊戲を集め、趣味快樂を覺えつ、知らず識らず數學の知識を養成せんとするものなり

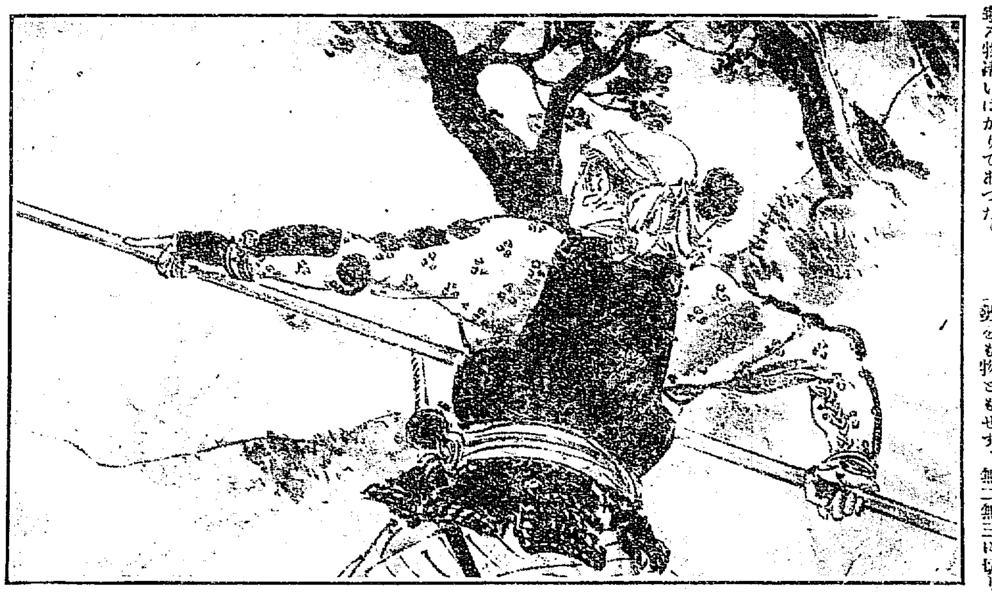
十一卷の十一號　X・Y增刊　數學記憶號　第三版出來正價金二十錢郵稅一錢
數學種々の公式諸表等學生諸君に必要なるものを集め、又數學上何人も常識として知らざるべからざるものを集めたる座右必携のものなり。

發行所　東京銀座　東海堂　振替東京八六七番

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も堅牢に迅速と可成親切を旨とし師高品に可應候　京城日報社　寫眞製版部

千生瓢 (108)

須藤南翠作　筒井年峰畫



長蛇を逸す（四）

三左衛門尉勝政は、今を限りと思ひ切つた血戰である。これに隨ふ一兵一卒まで、生命を捨てゝの最後の一戰である。一以て十に當る勇氣を振つて、踏み込み〳〵切り進み、縱に驅り、横に拔け、前後左右に暴れ廻る勢ひ、勇ましいと云はうより、凄まじい物凄いばかりであつた。

この武者振の華々しさに、我れ討取つて功名せんと、群を拔いて馬を進めたのは、渡邊勘兵衛であつた。勘兵衛今年二十二歳、二間の白き切裂きの大指物をさし翳し、鞭鐙を合はせて驅け寄りながら

『柴田三左衛門と慥かに見た。後を見するとは何事ぞ』と、喚き叫んで切りかけた。

『目はないか若者、敵の前後が見えぬかよ』と、三左衛門尉も罵り返して兵を進めて相戰ふ。

柴田が決死の兵共、奮戰して百騎討たるれば、渡邊の勢も百五十騎討たれ、剩さへ勘兵衛も、淺傷三四箇所負うたので、軍を招いて纔と退けば、勝政も創痍少々負うたので、引返して休息し、互ひに一息入れた後、いざとてまたもや切り結ぶ。柴田が手の者、一人討たれ、二人死し、今は七十餘騎と算へられたが、いづれも必死を覺悟しての上であるから、勝誇つて押寄する、雲霞の如き上方勢をも物ともせず、無二無三に切り入つて、皆切り死にを心掛け、打物及物の續かん限り、火水になつて奮戰する。此勢ひに上方勢を五丁餘りも切り退けて、勝政素早く驅け拔けながら、味方の勢を顧みるに、五十騎は既に討たれて、今は僅に二十餘騎となつたのである。

此人數だけにても、落ちようと思へば、落つる隙は十分あつたが、固より死を期したる戰ひである。主從ともに一歩も退かじと覺悟して、切り入り切り入り鎬ひかゝつた。

こゝへ味方の卒伍に紛れて、押分け〳〵身を挺でたのは、陣笠番具足に身を扮した、加藤虎之助清正であつた。清正進んで前を見ると、兜も鎧も美々しき大將、獅子奮迅の勢ひを以て、二十餘騎と一つになり、味方を太く惱ますのが、如何にも勇ましく感ぜられた。

清正意に想ふやう、近寄られば誰とは知らぬが、敵に取つて不足のない大將である。いざ、此兜首頂戴に預らうと、ぬつと驅け拔けて、進み寄る。三左衛門尉も䀹と見て、直に其何者であるかを知つた。身は足輕雜兵であるが、七尺豁の拔群な曲者は、爾う世に多くあるものでない。他へ聞く秀吉の近習小性に、加藤虎之助とは是れであらうと思つたので、勝政も馬を進ませた。

『忍び寄つたは、正しく加藤虎之助であらう。身を雜卒に扮したこそ心憎けれ。長高くとも、槍の徹らぬ事はあるまい。足疾くとも、馬には何うして及ばうぞ、いざ一槍參らさう』

勝政は斯う言つて、槍を横に引拔いた。而て確と眞向を狙うて、微塵になれと突き出した。其槍先の鋭さに、磐石も碎くるべく思はれた。

清正は名代の早業である。丈高く骨太く、一見無器用に見える身體を、竹の如く撓はせた。勝政が滿身の力を籠めた槍は、少し左の方に反れて岩に突き當て火花を散らした。清正は莞爾と笑つて

『柴田殿と見參らするは僻目か。左程にお焦燥なされまい、目は未うおざるぞ』と、長柄の槍を取り直した。而して鬼と聲をかけて、一はね刎ると見えたるが、三左衛門尉勝政は、脇を深く突き貫ぬかれて、急所の重傷に堪りもやらず、跳る馬に簸られて、眞逆樣に落つる所を、飛鳥の如く走せ寄つて、首を發矢とうち落した。

勝政は壯烈な死を遂げた。殘る二十騎の勇士等も、一人として生を望まず、皆敵中に奮闘して、悉く戰死した。其勇戰を後に見棄て、清正は三左衛門の首級を抱いたまゝ、逸やくも引き返すのであつた。

新刊紹介

▲大正國民讀本　樹を植ゆるは家を建つる始めであり民心の振興に努むるは邦の前途を憂ふるが爲めである其微衷により起稿せりてふ本書は日本國民の道德、教育、宗教三篇二百頁又一讀に値す（定價金七拾錢東京市小石川區久堅町五十五番地大日本教育會）

▲國體の精髓（大隈伯述）　公民叢書第十篇にして上古より説き起して今次の大禮に及び日本國體の精闡を説きたるもの（定價金拾錢東京府下下澁谷一二七八エビス驛下公民日報出版部）

▲現代通報（一月號）　名家梗概として稻造博士の醒めたる女、内ケ崎作之助氏の人生訓、マストエフスキーの貧しき人々其他あり附錄には井泉井の俳句の御寓あり（定價金拾錢東京麻布新堀町一二現代通報社）

◉寫眞小説『野の花』　脚本作家として有名なる佐藤紅綠氏は雜誌『少女畫報』の爲に寫眞小説『野の花』の一編を草し右發行所東京銀治橋外東京社寫眞部にては少からぬ經費と苦心とを以て精巧なる寫眞に撮影し二月號より連載せり波瀾に富める可憐なる少女の運命は細々として鮮明なる寫眞に現はれ讀者をして同情の涙に咽ばしむ此の船十餘頁の寫眞版原色版及びオフセツト版を百十六頁の讀み物とは全國女少座右の友として申分なし定價十五錢市内各書店にあり

商況

▲大阪三品

九十六錢△先限寄付十四圓七十四錢

▲仁川米豆取引所

▲後場小甘し

▲二十五日の三月限

◉仁川鐵吠移入

[illegible]

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

最上醬油（キハク印）

下總國野田町
茂木七郎右衛門醸造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

最上醬油
特許機械製 ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於五年京城物産共進會 金牌受領
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
電話七一五番 振替京城一七四番
京城出張所
電話二四五番 振替京城五二三番

近頃弊社の隆盛を羨み東京及全國各地に偽ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名恰も弊社支部の如く裝ひ、以て世人を瞞着し、特許藥味と販賣品とは別物にて僅に十錢の原價を投じて二圓の定價を貪り罰せられたる者も有り。

りん病 ばい毒 専門藥房
京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會 鮮滿本部
本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會
電話二五六七番 振替京城四六七番

右の外紛はしき商號を用ふる者續出せり眞正なる弊社製品には本舗大阪合資會社ドラッグ商會有田製と明記しあり此記名無き物は凡て偽物若くは模造品なり、弊社は藥効上の責任を重んずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●ばい毒藥壹週間分普通貳圓特製參圓●詳細本月三日の本紙御覧

再版 改訂增補
朝鮮不動產登記申請書式並心得
朝鮮商業登記
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵稅拾錢

本書中不動産登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動産登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲て加之に官通牒、登記に關する決議、質例等苟も申請人の參考ご爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社 振替京城三〇〇 京城大平通

レート化粧料本舖
東京・大阪 平尾贊平

イ、エ白粉は少しも着けないで唯だレートフード許りで
ほんのりと色の白い
この私の顏 私の肌

優等清酒 一鶴
京城本町四丁目電話六五四番
本莊酒店

本社電話番號
當分の間構内接續電話を廢し凡て局直通電話にて左の通り御呼出被下度候
編輯用 (長)三四五番 一二一四番
營業用 (長)三二六番 六六〇番
發送用 二六一六番

日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行
相模丸 一月廿八日 正午出帆
竹島丸 二月四日 正午出帆
高砂丸 二月十二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屬船(臨時航路を除く)問連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
油頭丸 一月卅一日 午後五時出帆
天智丸 一月廿六日
平壤丸 一月三十日
×木浦、釜山、長崎行▲は嚴原港の神に寄港
安東丸 二月九日 午後二時出帆
城津丸 一月卅一日
×○大連行
安東丸 二月五日 午後二時出帆
城津丸 一月廿八日
◉群山、神戸、大阪行
大智丸 二月五日 後五時出帆
○群山、釜山、橫濱行
△チョイサン丸 二月七日 午後四時出帆
△潮州丸 一月卅日
○大連直行
△潮州丸 一月廿六日 正午出帆
△チョイサン丸 二月三日
○淸津、浦潮行(元山出帆)
久地丸 一月廿八日 午後二時出帆
北丸 二月八日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
北丸 一月 日 午前四時出帆
安平丸 二月十日
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡通切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船被下度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二〇番 五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番
中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間五割引門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
ゐ神丸 二月 八日後五時出帆
○元山淸津浦潮行
ゐ神丸 一月廿七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 一月 日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行
小倉丸 二月 三日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 一月三十日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 二月十 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大眞丸 毎月二日九日十六日廿三日廿六日 午後十時出帆
釜山埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
國東號は自今命令船芝罘、大連行
共同丸 一月廿五日後二時入港 一月廿六日前九時出帆
朝鮮沿岸より琴に大連にて青島行定期船に通し輸送御取扱仕候 と同額運賃にて商客並に貨物輸送御取扱仕候 商客共直取扱
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月日後九時入港 月日出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸(元山出帆) 月日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
榮町(電話二四〇七番) 元山代理店 田口回漕部
大門電話(二六八、二〇一七) 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 一月廿八日後四時出帆
大有丸 一月廿八日後四時出帆
神代丸 二月四日後四時出帆
蛟龍丸 一月卅一日後四時出帆
君が代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
鐵道及其外船と荷客連絡輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御問合を乞ふ
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一五七)
電話長一九五二番、二三三一番
全羅丸 二月十二日
京畿丸 二月 一日
黄海丸 一月廿七日
咸鏡丸 二月 六日 釜山發
門司より釜山各港寄港群山、麗水
德城丸 二月 三日
昌平丸 二月 一日
鏡城丸 一月廿八日 元山發
元山より各港經由雄基行又は長崎延長
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久味、五里浦行
盛德丸 一月廿九日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 毎日(釜山浦項)發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 一月廿七日 釜山發 長承浦、三天浦、麗水各港行
海州丸 巨濟丸
統營丸 慶寶丸 毎日 釜山發 各港經由統營行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目毎 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
慶興丸 一月廿八日 木浦發 各港經由濟州島行(西廻)
公州丸 二月一日 木浦發 南方島海列島行(月三回)
公州丸 一月廿六日 木浦發 各港經由濟州島行(東廻)
金州丸 一月廿九日 仁川發 海州他各港經由、德洞又は白翎島行
江原丸 一月廿六日 仁川發 芝罘、大連、青島行
麗水丸 二月二日 仁川發
晋州丸 一月廿八日 各港經由木浦行
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 江華島、桐岛島、海州行
平安丸 二月三日 群山發
一月廿八日 若松發 群山、木浦、門司、若松行